

大間原子力発電所審査資料	
資料番号	OM1-CA140-R00
提出年月日	2020年12月16日

大間原子力発電所

敷地の地質・地質構造

(コメント回答 その13)

(後期更新世に生じた変状に関わるボーリングコアの地質柱状図及びコア写真)

2020年12月

電源開発株式会社

大間原子力発電所

敷地の地質・地質構造

(コメント回答 その13)

(後期更新世に生じた変状に関わる
ボーリングコアの地質柱状図及びコア写真)

2020年12月16日

電源開発株式会社

○ 「第615回審査会合」及び「第646回審査会合」での誤記に関わる対応を踏まえ、本資料にて過去の審査会合資料を引用する際の注記を下記のとおりとする。

・ 右上の注記

再掲：過去の審査会合資料を、そのまま引用する場合

一部修正：過去の審査会合資料の内容を、一部修正する場合

誤りを修正：過去の審査会合資料の誤りを、正しい記載とする場合

・ 左下の注記

修正した誤りの内容を記載（誤りの修正がある場合）

目次



1. ボーリング調査位置図	2
2. 地質柱状図凡例	3
3. 地質柱状図	4
4. コア写真	61

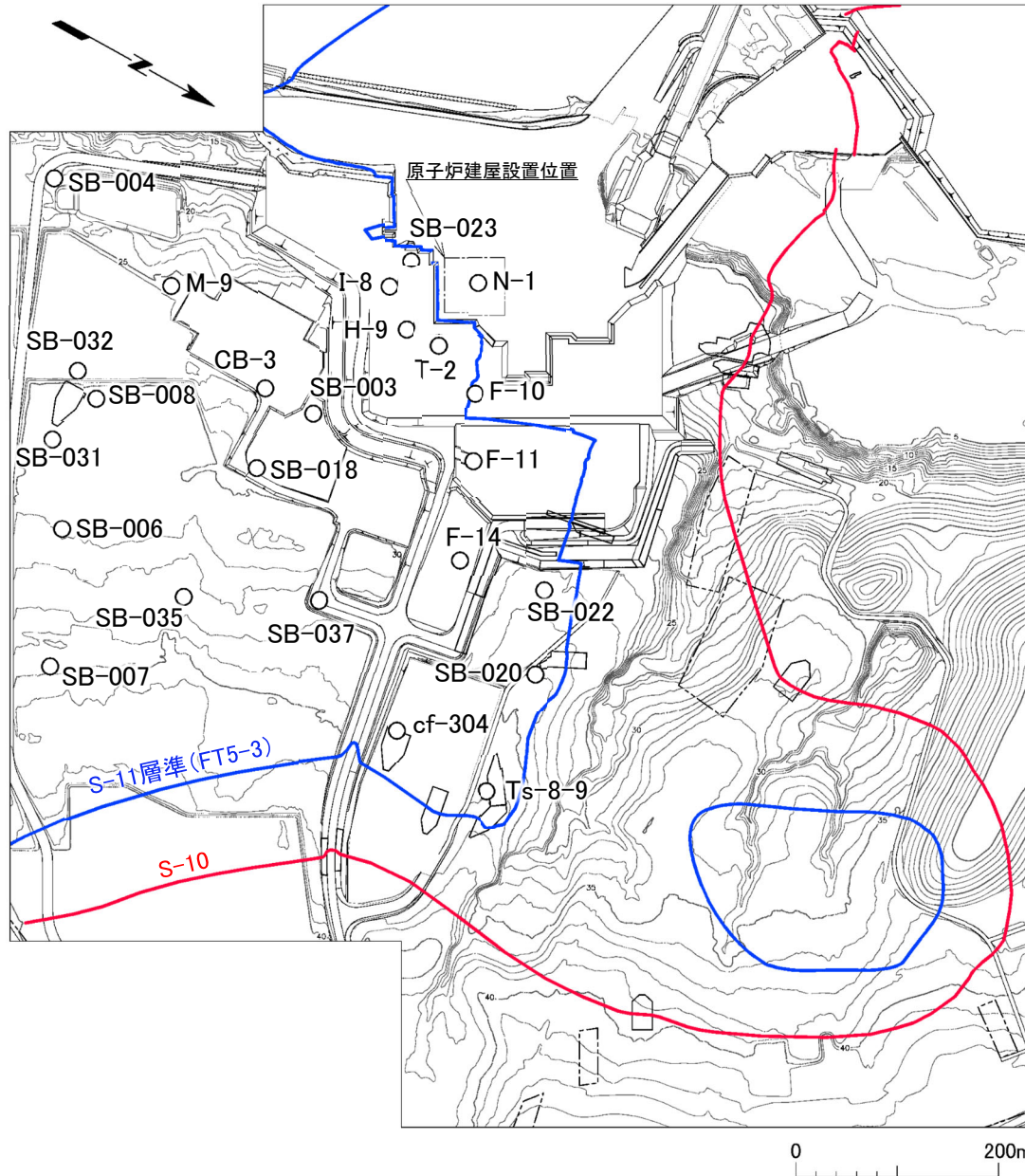
地質柱状図及びコア写真の掲載頁一覧表

孔名	地質柱状図	コア写真
N-1	4 ~ 5	61 ~ 62
F-10	6 ~ 7	63 ~ 64
F-11	8 ~ 9	65 ~ 66
F-14	10 ~ 11	67 ~ 68
H-9	12 ~ 13	69 ~ 70
I-8	14 ~ 15	71 ~ 72
M-9	16 ~ 18	73 ~ 75
T-2	19 ~ 20	76 ~ 77
Ts-8-9	21	78
cf-304	22	79
CB-3	23 ~ 25	80 ~ 82
SB-003	26 ~ 28	83 ~ 85

孔名	地質柱状図	コア写真
SB-004	29 ~ 32	86 ~ 89
SB-006	33 ~ 35	90 ~ 92
SB-007	36 ~ 37	93 ~ 94
SB-008	38 ~ 40	95 ~ 97
SB-018	41 ~ 43	98 ~ 100
SB-020	44 ~ 45	101 ~ 102
SB-022	46 ~ 47	103 ~ 104
SB-023	48 ~ 49	105 ~ 106
SB-031	50 ~ 52	107 ~ 109
SB-032	53 ~ 55	110 ~ 112
SB-035	56 ~ 58	113 ~ 115
SB-037	59 ~ 60	116 ~ 117

1. ボーリング調査位置図

後期更新世に生じた変状のボーリング調査位置図



凡例

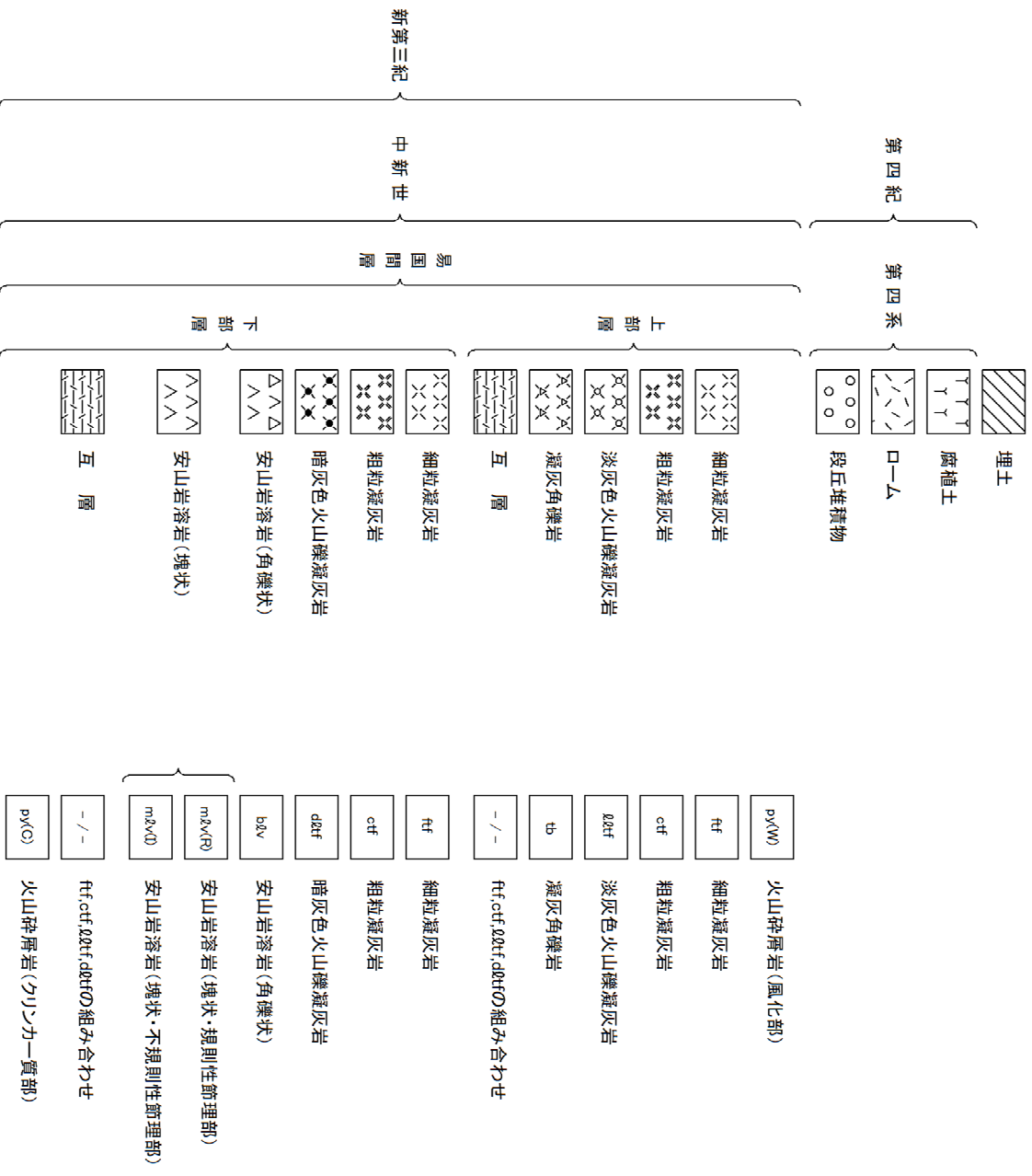
- トレンチ・法面
- 敷地境界
- シームS-11層準 (FT5-3)*が
第四系基底面、掘削面等に現れる位置
*: シームS-11を挟在する細粒凝灰岩の鍵層名
- シームS-10が
第四系基底面、掘削面等に現れる位置
- ボーリング孔

2. 地質柱状図凡例

地質柱状図凡例

【地質区分】

【岩盤区分】



(注1) 地質名のうち互層の構成は、主要な構成地質から順に記載している。
 例えば、シルト岩／粗粒凝灰岩／暗灰色火山礫凝灰岩互層など。
 (注2) 色調のうち、礫部と基質部とから成る地質については、礫部／基質部の順に記載している。
 例えば、灰黒／淡黄灰など。

3. 地質柱状図(1/57)

N-1孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.65	14.60	14.60	14.60	Y Y	第四系	腐植土	-	褐黒	100	0	100	4.44m~5.01m: 風化により軟弱化している。
1	2.20	13.05	13.05	13.05	〇 〇 〇		ローA		褐	100	0	100	
2	4.44	10.81	10.81	10.81	〇 〇 〇	凝灰色火山礫凝灰岩	段丘堆積物	暗灰/暗褐	100	0	100	5.75m~5.88m: 粗粒凝灰岩と凝灰色火山礫凝灰岩の相互層が分布する。	
3							暗灰/暗黄灰	100	78	100	97		9.89m~9.94m: 厚さ約5cmの粗粒凝灰岩が分布する。 9.91m: 厚さ約1.2cmのシルトがある。
4						灰黒/淡黄灰	100	32	100	87	10.42m~10.54m: 厚さ約12cmの粗粒凝灰岩が分布する。		
5						灰黒/暗黄灰	100	100	100	97			
6						灰黒/淡黄灰	100	42	100	95			
7						灰黒/暗黄灰	100	35	100	97			
8						灰黒/暗黄灰	100	41	100	80			
9	9.46	5.79	5.79	5.79	X X X X	凝灰色火山礫凝灰岩	粗粒凝灰岩	暗灰	100	32	100	87	9.89m~9.94m: 厚さ約5cmの粗粒凝灰岩が分布する。 9.91m: 厚さ約1.2cmのシルトがある。
10	9.71	5.54	5.54	5.54	X X X X		凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰/暗黄灰	100	100	100	100	
11	10.54	4.71	4.71	4.71	X X X X	易固間層 上部層	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	100	100	100	10.42m~10.54m: 厚さ約12cmの粗粒凝灰岩が分布する。
12							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	54	100	97	
13						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	18	100	90	
14							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	35	100	89	
15						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	48	100	87	
16							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	79	100	83	
17						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	82	100	92	
18							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	49	100	89	
19						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	18	100	90	
20							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	41	100	80	
21						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	19	100	63	
22							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	77	100	100	
23	23.00	-7.75	-7.75	-7.75	X X X X	凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	80	100	100	
24	23.68	-8.43	-8.43	-8.43	X X X X		凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	41	100	92	
25	25.52	-10.27	-10.27	-10.27	X X X X	凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	47	100	97	
26							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	87	100	97	
27						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	40	100	100	
28							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	74	100	93	
29						凝灰色火山礫凝灰岩	凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	56	100	84	
30							凝灰色火山礫凝灰岩	暗灰	100	37	100	96	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、4.44m~10.54mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.61のコア写真参照)。

孔名: N-1

孔口標高: T.P.15.25m

掘削長: 460.00m (16-1)

3. 地質柱状図(2/57)

N-1孔 深度30m~60m

孔名: N-1		孔口標高: T.P.15.25m		掘削長: 460.00m (16-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			△△△△△	奥国間層	淡灰色火山礫凝灰岩	datf	灰黒/淡黄灰	100	51	92	39.07m~39.10m: 細粒凝灰岩が分布する。 39.08m: 厚さ約1.6cmの「A」(S-10)がある。
31			△△△△△					100	40	100	
32			△△△△△					100	53	94	
33			△△△△△					100	43	96	
34			△△△△△					100	48	92	
35			△△△△△					100	46	69	
36			△△△△△					100	39	76	
37			△△△△△					100	73	96	
38			△△△△△					100	37	87	
39			△△△△△					100	60	80	
40			△△△△△					100	79	96	
41			△△△△△					100	61	88	
42			△△△△△					100	22	46	
43			△△△△△					100	83	94	
44			△△△△△					100	36	93	
45			△△△△△					100	51	89	
46			△△△△△					100	50	97	
47			△△△△△					100	47	92	
48			△△△△△					100	35	75	
49			△△△△△					100	51	61	
50			△△△△△	奥国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bob	黒/暗黄灰	100	54	92	48.76m~49.30m: 岩片状~細片状コア。 55.61m~56.39m: 岩片状~細片状コア主体。 56.69m~57.00m: 岩片状~細片状コア。
51			△△△△△					100	69	95	
52			△△△△△					100	36	83	
53			△△△△△					100	49	85	
54			△△△△△					100	46	90	
55			△△△△△					100	57		
56			△△△△△					100	30	57	
57			△△△△△					100	17	41	
58			△△△△△					100	22	40	
59			△△△△△					100	22	29	
60			△△△△△					100	29	29	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、38.50m~42.68mにやや細粒で成層構造が発達する部分か認められる(P.62のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(3/57)

F-10孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.52	21.58	19.62	丁丁	第四系	腐植土	-	褐黒	100	0	100	掘削長: 326.00m (11-1)
1						ローA		褐	100	0	100	
2	2.48								100	0	100	
3									100	0	100	
4									100	0	100	
5									100	0	100	
6									100	0	100	
7									100	0	100	
8									100	0	100	
9									100	0	100	
10									100	0	100	
11									100	0	100	
12	12.20	9.90							100	0	100	
13	12.80	9.30							100	0	100	
14									100	0	100	
15	15.40	6.70							100	0	100	
16	16.05	6.05							100	0	100	
17	16.83	5.27							100	0	100	
18	17.66	4.44							100	0	100	
19									100	0	100	
20									100	0	100	
21									100	0	100	
22									100	0	100	
23									100	0	100	
24									100	0	100	
25									100	0	100	
26									100	0	100	
27									100	0	100	
28									100	0	100	
29									100	0	100	
30									100	0	100	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、9.00m~13.70m、15.00m~17.60mにやや細粒で成層構造が発達する部分(9.63m)が認められる(9.63mのコア写真参照)。

16.83m~16.86m: 細粒凝灰岩が分布する。
16.92m~16.98m: 粗粒凝灰岩とシルト岩の相互層が分布する。

11.77m~11.88m: 粗粒凝灰岩が分布する。

9.18m~9.19m: 細粒凝灰岩が分布する。
9.19m: 厚さ約0.5mmのシルト岩(S-11)がある。

2.48m~9.20m: 風化により軟質化している。

3. 地質柱状図(4/57)

F-10孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 T.P. (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30		32.08		-9.98		△△△△	島国間層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・地黒/ 淡黄灰	100	27	71	掘削長: 326.00m (11-2)
31						△△△△	島国間層			100	36	72		
32						△△△△	島国間層			100	62	83		
33						△△△△	島国間層			100	79	93		
34						△△△△	島国間層			100	39	100		
35						△△△△	島国間層			100	33	78		
36						△△△△	島国間層			100	33	100		
37						△△△△	島国間層			100	27	64		
38						△△△△	島国間層	凝灰色火山礫凝灰岩	detf	灰黒/ 淡黄灰	100	20	64	
39						△△△△	島国間層			100	55	100		
40						△△△△	島国間層			100	56	56		
41						△△△△	島国間層			100	45	95		
42						△△△△	島国間層			100	37	88		
43						△△△△	島国間層			100	74	88		
44						△△△△	島国間層			100	41	92		
45						△△△△	島国間層	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	57	44.94m~44.99m:粗粒凝灰岩が分布する。 44.97m:厚さ約1.7cmのラーA(S-10)がある。	
46						△△△△	島国間層	細粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	ctf/ctf	黄灰・灰	100	25		
47						△△△△	島国間層	凝粒凝灰岩/ 粗粒凝灰岩/ 粗粒色火山礫凝灰岩	ctf/ctf/ d0tf	灰黒・地黒/ 暗黄灰 黄灰・地黒/ 黄灰・灰・暗黄灰	100	38		
48						△△△△	島国間層			100	29	83		
49						△△△△	島国間層			100	44	100		
50						△△△△	島国間層			100	36	78		
51						△△△△	島国間層			100	40	89		
52						△△△△	島国間層	安山岩溶岩(角礫状)	blbv	黒/ 暗黄灰	100	38	100	
53						△△△△	島国間層			100	47	87		
54						△△△△	島国間層			100	32	90		
55						△△△△	島国間層			100	17	71		
56						△△△△	島国間層			100	18	18		
57						△△△△	島国間層			100	9	0		
58						△△△△	島国間層			100	11	22		
59						△△△△	島国間層	安山岩溶岩(塊状)	mlbv(1)	灰・黒灰 塊灰	100	18	40	
60						△△△△	島国間層			100	18			

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、38.30m~47.23mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.64のコア写真参照)。

55.90m~56.65m: 黒色の島片層凝灰岩が認められる。
55.90m~61.42m: 凝柱状コア~岩片状コアを主体とする。

3. 地質柱状図(6/57)

F-11孔 深度30m~60m

孔名: F-11		孔口標高: T.P.25.80m		掘削長: 180.00m (6-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			XXXXXX	島国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐黒/ 淡黄灰	100	27	90	40.48m付近:厚さ約2cm~約3cmの粗粒凝灰岩が分布する。 40.89m付近:40.89m付近:厚さ約1cmの粗粒凝灰岩の薄層が分布する。
31			XXXXXX					100	72	96	
32			XXXXXX	島国間層 下部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・淡黄灰	100	37	100	42.76m付近:厚さ約1cmの粗粒凝灰岩の薄層が分布する。 40.89m付近:厚さ約2cmの粗粒凝灰岩が分布する。 46.83m~46.92m:細粒凝灰岩が分布する。 46.84m:厚さ約2.0cmのレーム(S-10)がある。
33			XXXXXX					100	37	92	
34	34.52	-8.72	XXXXXX					100	72	100	
35			XXXXXX					100	25	99	
36			XXXXXX					100	38	88	
37			XXXXXX					100	54	100	
38			XXXXXX					100	35	94	
39			XXXXXX					100	26	93	
40			XXXXXX					100	79	100	
41			XXXXXX					100	31	96	
42			XXXXXX	100	31	100					
43			XXXXXX	100	30	92					
44			XXXXXX	100	42	100					
45			XXXXXX	100	37	80					
46	46.35	-20.55	XXXXXX	100	67	67					
47	47.17	-21.37	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	67	40.15m付近:厚さ約2cmの粗粒凝灰岩が分布する。		
47	47.60	-21.80	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf/ctf	黄灰・灰 黄灰	100	54	46.83m~46.92m:細粒凝灰岩が分布する。		
48	48.00	-22.20	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf	暗灰	100	69	46.84m:厚さ約2.0cmのレーム(S-10)がある。		
48	48.50	-22.70	XXXXXX	粗粒凝灰岩/ 凝灰角礫岩	ctf/ctf	灰黒/暗灰 暗緑灰	100	43			
49	48.84	-23.04	XXXXXX	粗粒凝灰岩/ 凝灰角礫岩	ctf/ctf	灰黒・褐黒/灰 ・黄灰・暗黄灰	100	42	49.63m~88.58m:短柱状~柱状コアを主体とする。		
49	49.63	-23.83	XXXXXX	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	56			
50			XXXXXX	島国間層 下部層	凝灰角礫岩	mbv(I)	黒灰	100	34	44	58.58m~66.60m:柱状コアを主体とする。
51			XXXXXX					100	10	44	
52			XXXXXX					100	19	46	
53			XXXXXX					100	27	64	
54			XXXXXX					100	19	68	
55			XXXXXX					100	23	68	
56			XXXXXX					100	26	70	
57			XXXXXX					100	34	60	
58			XXXXXX					100	26	60	
59			XXXXXX					100	37	61	
60			XXXXXX	100	23	71					

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、45.80m~49.63mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する部分(66のコア写真参照)。



3. 地質柱状図(7/57)

F-14孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 (m)		柱状図		地層名		地質名		岩盤区分		色調		コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)		RQD (%)		記事		
0	0.52	28.92	28.92	T.P.	28.92	T	T	第四系	腐植土	-	褐黒	100	100	0	100	0	100					2.04m~約8.0m:風化により軟質化している。		
1	1.08	28.36	28.36		27.40	○	○		ローム		暗灰 / 粉地	100	48	91	88									
2	2.04	27.40	27.40						段丘堆積物			100	59	97	91									
3											褐黒 / 黄褐色	100	28	100	100									
4												100	48	100	88									
5												100	91	100	91									
6												100	59	97	97									
7												100	28	100	100									
8												100	48	100	88									
9												100	91	100	91									
10												100	59	97	97									
11												100	28	100	100									
12												100	48	100	88									
13												100	91	100	91									
14												100	59	97	97									
15												100	28	100	100									
16												100	48	100	88									
17												100	91	100	91									
18												100	59	97	97									
19												100	28	100	100									
20												100	48	100	88									
21												100	91	100	91									
22												100	59	97	97									
23												100	28	100	100									
24												100	48	100	88									
25												100	91	100	91									
26												100	59	97	97									
27												100	28	100	100									
28												100	48	100	88									
29												100	91	100	91									
30												100	59	97	97									

孔名: F-14

孔口標高: T.P.29.44m

掘削長: 412.00m

(14-1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、14.30m~15.10m、17.70m~18.00m、19.80m~22.47mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.67のコア写真参照)。



第906回審査会合
机上配布資料 P.74 一部修正

3. 地質柱状図(8/57)

F-14孔 深度30m~60m

孔名: F-14		孔口標高: T.P.29.44m		掘削長: 412.00m (14-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			〰〰〰〰	易国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒/淡黄灰	100	74	100	
31	32.20	-2.76	〰〰〰〰					100	50	85	
32			〰〰〰〰	易国間層 下部層	淡灰色火山凝結灰岩	dbrf	灰黒/淡黄灰	100	68	100	
33			〰〰〰〰					100	61	100	
34			〰〰〰〰					100	24	61	
35			〰〰〰〰					100	55	100	
36			〰〰〰〰					100	41	96	
37			〰〰〰〰					100	37	100	
38			〰〰〰〰					100	62	92	
39			〰〰〰〰					100	68	100	
40			〰〰〰〰					100	26	86	
41			〰〰〰〰					100	37	84	
42			〰〰〰〰	100	22	89					
43	42.96	-13.51	〰〰〰〰	粗粒凝灰岩 /細粒凝灰岩 /細粒凝灰岩 /粗粒凝灰岩 /粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	30	51	42.96m~43.05m, 43.11m~43.17m:粗粒凝灰岩が分布する。 43.26m~43.41m:粗粒凝灰岩が分布する。 43.31m:厚さ約5.2cmのS-A(S-10)がある。	
43	43.26	-13.82	〰〰〰〰				100	30	89		
44	43.72	-14.28	〰〰〰〰				100	30	51		
44	44.03	-14.59	〰〰〰〰				100	33	97		
45	44.35	-14.91	〰〰〰〰	粗粒凝灰岩 /粗粒凝灰岩	ctf	灰黒/暗黄灰	100	30	79		
45	44.83	-15.39	〰〰〰〰				100	30	79		
46	45.64	-16.20	〰〰〰〰	易国間層 下部層	細粒凝灰岩	tf/ctf	黄灰・灰	100	59	100	
47			〰〰〰〰					100	79	100	
48			〰〰〰〰					100	39	100	
49			〰〰〰〰					100	37	100	
50	49.95	-20.51	〰〰〰〰					100	19	50	
51			〰〰〰〰					100	17	43	
52			〰〰〰〰					100	43	87	
53			〰〰〰〰					100	25	65	
54			〰〰〰〰					100	15	35	
55			〰〰〰〰					100	16	45	
56			〰〰〰〰	100	15	27					
57			〰〰〰〰	100	38	67					
58			〰〰〰〰	100	37	73					
59			〰〰〰〰	100	34	62					
60			〰〰〰〰	100	34	62					

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、42.00m~45.64mにやや細粒で成層構造が発達する部分
が認められる(P.88のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(10/57)

H-9孔 深度30m~60m

孔名: H-9

孔口標高: T.P.22.72m

掘削長: 175.00m (6-2)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30	37.72	-15.00	[Pattern]	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・極黒 / 淡黄灰	100	65	96	53.24m~53.46m:細粒凝灰岩が分布する。 53.29m:厚さ約9.0cmのソーム(S-10)がある。
100								69	96		
31	32.65	-29.93	[Pattern]	易固間層 下部層	凝灰色火山凝灰岩	qdt	灰黒/淡黄灰	100	50	100	
32								100	55	100	
33								100	64	100	
34								100	58	100	
35								100	88	100	
36								100	89	100	
37								100	73	100	
38								100	48	91	
39								100	55	87	
40								100	87	100	
41	53.24	-30.52	[Pattern]	凝灰色火山凝灰岩	dtf/cdf/det	灰黒/淡黄灰	100	62	100		
42							100	99	100		
43							100	89	100		
44							100	100	100		
45							100	99	100		
46							100	55	95		
47							100	84	100		
48							100	99	100		
49							100	62	91		
50							100	100	100		
51	53.72	-31.00	[Pattern]	凝灰色火山凝灰岩 / 凝灰色火山凝灰岩	dtf/cdf/det	灰黒/淡黄灰	100	43	84		
52							100	55	100		
53							100	84	100		
54							100	33	83		
55	54.56	-31.84	[Pattern]	凝粒凝灰岩	nt	黄灰 / 灰	100	29	81		
56							100	43	71		
57	55.47	-32.76	[Pattern]	暗灰色火山凝灰岩 / 粗粒凝灰岩	dct/cdt	黒 / 暗黄灰・灰	100	17	58		
58							100	31	74		
59	56.11	-33.39	[Pattern]	粗粒凝灰岩 / 粗粒凝灰岩	dtf/cdt	黄灰・灰	100	100	64		
60							100	25			

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、46.10m~47.20m、52.00m~56.11mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.70のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(11/57)

I-8孔 深度0m~30m

孔名: I-8		孔口標高: T.P.17.73m		掘削長: 321.00m (11-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m) T.P.	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%) 0/100	最大コア長 (cm) 0/100	RQD (%) 0/100	記事
0	0.97	16.76	TTT	第四系	腐植土		褐黒	100			5.46m~11.20m: 風化により軟質化している。
1	2.88	14.85	〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇		ローム	-	褐	100			
2	5.46	12.27	〇〇〇 〇〇〇	第四系 易固面層 上部層	段丘堆積物		暗灰 /暗褐	100			11.37m~11.47m: 粗粒凝灰岩が分布する。 11.42m付近: 厚さ約1cmにわたり細粒凝灰岩層である。
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14	14.89	2.84									
15	15.24	2.49									
16											
17											
18	18.69	-0.96									
19	18.98	-1.25									
20	19.97	-2.24									
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、11.20m~12.10m, 13.90m~15.00m, 18.00m~19.97m にやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。11.42m付近がS-11層準(FT5-3)に相当する(P.71の写真を参照)。

3. 地質柱状図(12/57)

I-8孔 深度30m~60m

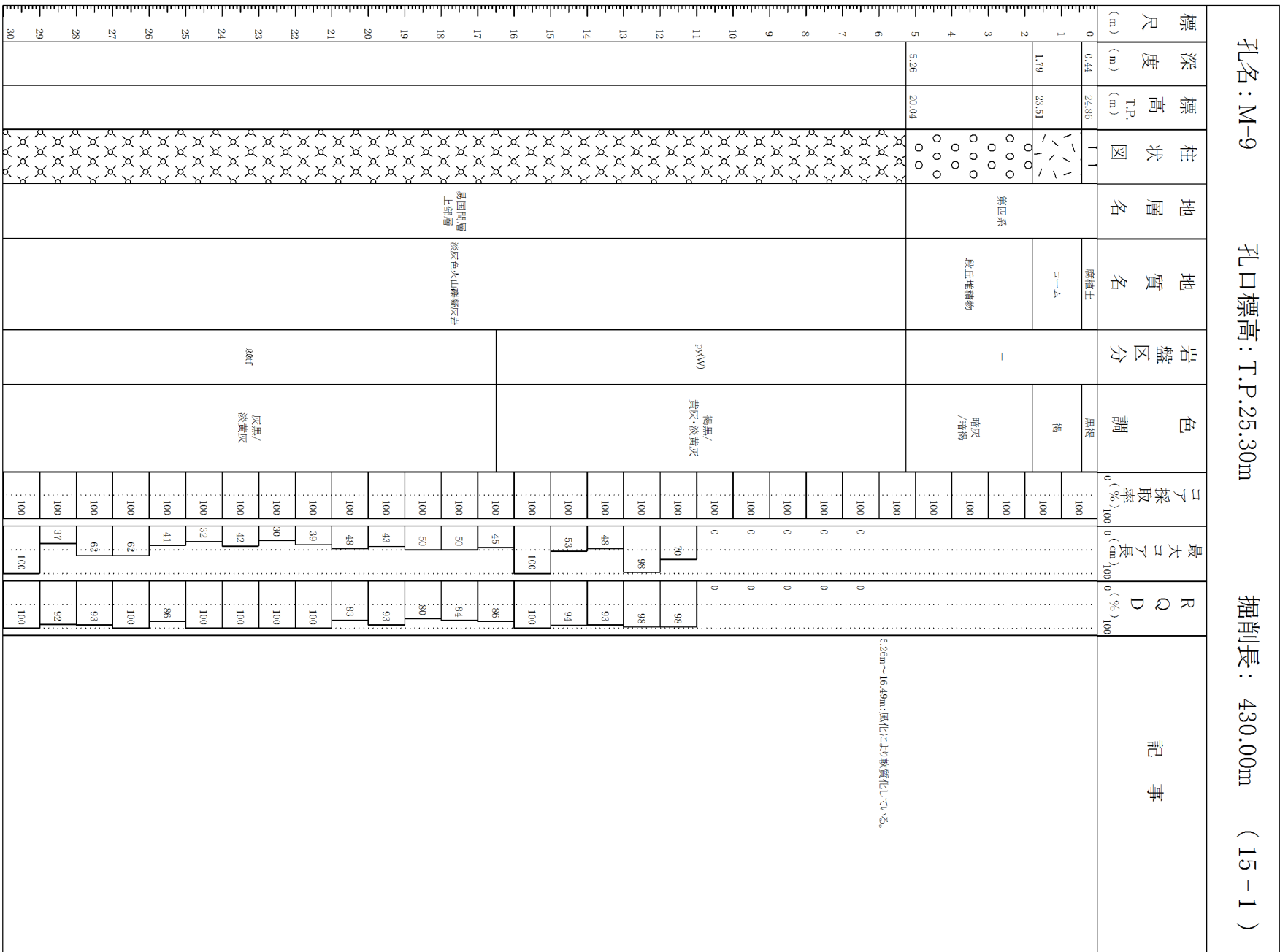
孔名: I-8		孔口標高: T.P.17.73m		掘削長: 321.00m (11-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			易固間層 上部層	粗粒凝灰岩	凝灰色火山凝灰岩	dntf	灰黒/淡黄灰	100	64	100	50.30m~50.43m:粗粒凝灰岩が分布する。 50.35m:厚さ約6.6cmのシミ(S-10)がある。 52.28m~52.38m:粗粒凝灰岩が分布する。 52.32m:厚さ約0.2cmのシミがある。
31		100						100	100		
32		100						100	100		
33		100						100	100		
34		100						100	100		
35	35.06	-17.33						100	42	100	
36								100	51	100	
37								100	63	100	
38								100	78	100	
39								100	97	100	
40			100	54	100						
41			100	42	100						
42			100	42	100						
43			100	51	100						
44			100	53	100						
45			100	35	100						
46			100	44	100						
47			100	67	100						
48			100	59	100						
49	49.73	-32.00	100	50	100						
50	50.30	-32.57	易固間層 下部層	粗粒凝灰岩 /粗粒凝灰岩	ntf/ctf	黄灰・灰	100	27	79		
51	51.14	-33.41					100	72	90		
52	52.28	-34.55	粗粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	凝灰色火山凝灰岩	dntf	灰黒・濃黒 /厚黄灰	100	36	100		
53	52.63	-34.90					100	83	100		
54			易固間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bav	黒/暗黄灰	100	26	100		
55							100	48	100		
56							100	33	100		
57							100	35	100		
58							100	39	100		
59							100	36	100		
60							100	62	100		

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、48.20m~51.14mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する。11.42m付近がシミ(S-11)層準(F15-3)に相当する(P.72のコア写真参照)。



3. 地質柱状図(13/57)

M-9孔 深度0m~30m





3. 地質柱状図(14/57)

M-9孔 深度30m~60m

孔名: M-9		孔口標高: T.P.25.30m		掘削長: 430.00m (15-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m) T.P.	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%) 0, 100	最大コア長 (cm) 0, 100	RQD (%) 0, 100	記事
30			XXXXXX					100	38	96	
31			XXXXXX					100	38	100	
32			XXXXXX					100	53	100	
33			XXXXXX					100	57	97	
34			XXXXXX					100	37	100	
35			XXXXXX					100	48	87	35.31m~35.60m:粗粒凝灰岩が分布する。
36			XXXXXX					100	44	82	
37			XXXXXX		淡灰色火山凝灰岩	0aT	灰黒/ 淡黄灰	100	62	100	38.75m~38.79m:粗粒凝灰岩が分布する。 39.15m~39.18m:粗粒凝灰岩が分布する。
38			XXXXXX					100	78	100	
39			XXXXXX					100	100	100	
40			XXXXXX					100	87	100	
41			XXXXXX					100	90	100	
42			XXXXXX					100	46	100	
43			XXXXXX					100	64	81	44.55m, 44.61m: それぞれ厚さ約2cmの細粒凝灰岩が分布する。 45.20m~45.29m, 45.32m~45.35m: 細粒凝灰岩が分布する。 45.38m~45.44m: 細粒凝灰岩が分布する。 45.39m: 厚さ約0.6cmのラムラがある。
44			XXXXXX	易固間層 上部層	細粒凝灰岩 /粗粒凝灰岩	ttt/cst	黄灰・灰	100	36	89	
45	45.19	-19.89	XXXXXX					100	64	100	
46	45.44	-20.14	XXXXXX					100	55	94	
47			XXXXXX					100	67	100	
48			XXXXXX					100	64	100	
49			XXXXXX					100	59	100	
50			XXXXXX					100	74	90	
51			XXXXXX					100	59	100	
52			XXXXXX					100	64	87	
53			XXXXXX		凝灰角礫岩	tb	灰黒/ 淡黄灰	100	68	100	
54			XXXXXX					100	38	100	
55			XXXXXX					100	55	94	
56			XXXXXX					100	67	100	
57			XXXXXX					100	64	100	
58			XXXXXX					100	64	100	
59			XXXXXX					100	79	91	
60			XXXXXX					100	91	91	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、35.00m~40.00m, 43.80m~45.44mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される。38.37m付近が「LS-11層準(FT5-3)」に相当する(P.74のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(15/57)

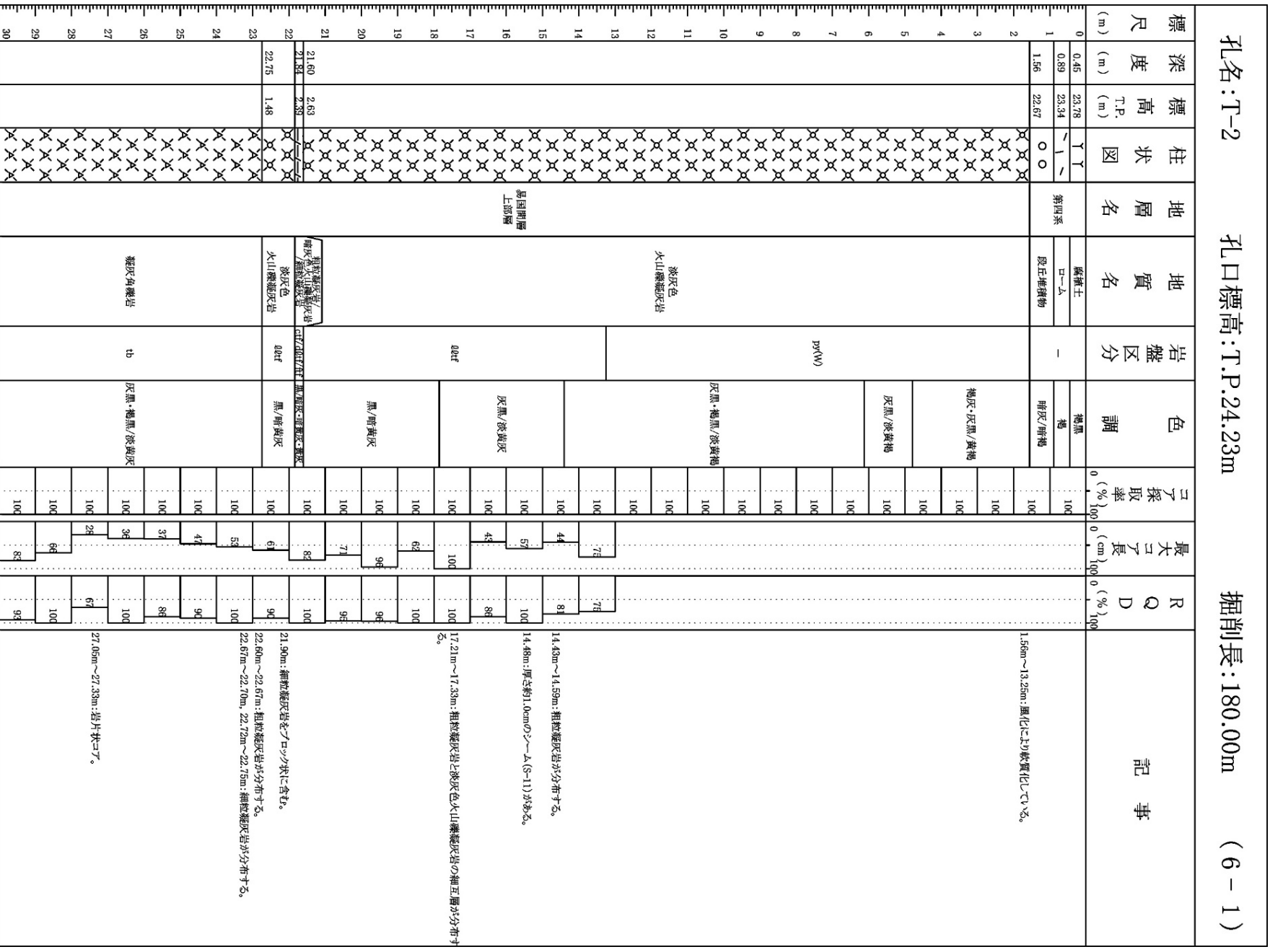
M-9孔 深度60m~90m

孔名: M-9		孔口標高: T.P.25.30m		掘削長: 430.00m (15-3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m) T.P.	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%) 0/100	最大コア長 (cm) 0/100	RQD (%) 0/100	記事
60			△△△△	鼻国間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒/ 淡黄灰	100	58	96	82.86m~82.98m: 細粒凝灰岩が分布する。 82.99m: 厚さ約3.0cmのラウーA(S-10)がある。 83.67m~83.78m: 細粒凝灰岩が分布する。 83.70m: 厚さ約2.0cmのラウーAがある。
61			△△△△					100	61	84	
62	62.07	-36.77	△△△△	100	79	100					
63			△△△△	100	74	97					
64			△△△△	100	54	100					
65			△△△△	100	45	96					
66			△△△△	100	100	100					
67			△△△△	100	44	100					
68			△△△△	100	37	100					
69			△△△△	100	49	87					
70			△△△△	100	60	100					
71			△△△△	100	65	98					
72			△△△△	100	68	93					
73			△△△△	100	77	92					
74			△△△△	100	70	100					
75			△△△△	100	55	100					
76			△△△△	100	85	100					
77			△△△△	100	53	93					
78			△△△△	100	40	79					
79			△△△△	100	68	100					
80			△△△△	100	68	100					
81			△△△△	100	30	30					
82	82.15	-56.85	△△△△	100	30	44					
82	82.75	-57.45	△△△△	100	36	89					
83			△△△△	粗粒凝灰岩 / 細粒凝灰岩	ctf/ht	灰・黄灰	100	20	55		
83	83.78	-58.48	△△△△	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	64	30		
84	84.17	-58.87	△△△△	暗灰色火山礫凝灰岩	dctf	灰黒/ 暗灰	100	37	32		
85	85.39	-60.09	△△△△	暗灰色火山礫凝灰岩/ 暗灰色火山礫凝灰岩	ctf/ht /dctf	灰黒/灰・ 黄灰・暗灰	100	25	60		
86	86.41	-61.11	△△△△	鼻国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bdr	黒/暗黄灰	100	42	83	
87			△△△△	100				49	95		
88			△△△△	100				74			

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、82.10m~84.17m, 85.39m~86.41mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.75のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(16/57)

T-2孔 深度0m~30m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、14.40m~22.80mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.76のコア写真参照)。

孔名: T-2

孔口標高: T.P.24.23m

掘削長: 180.00m

(6-1)

3. 地質柱状図(17/57)

T-2孔 深度30m~60m

孔名:T-2		孔口標高:T.P.24.23m		掘削長:180.00m		(6-2)															
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事										
30	37.00	-12.77	[Pattern]	鼻国閉層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐黒/灰黒灰	100	84	97	51.41m~51.51m:細粒凝灰岩が分布する。 51.45m:厚さ約5.1cmのラーム(S-10)がある。 51.75m~52.06m:細粒凝灰岩が分布する。 51.94m:厚さ約1.4cmのラーム様の物質があるが、ラームの可能性が低い。 53.50m~53.71m:細片状コア。										
31								100	94	100											
32								100	55	96											
33								100	40	97											
34								100	94	95											
35								100	74	96											
36								100	52	84											
37								100	100	100											
38								100	100	100											
39								100	55	98											
40								100	44	91											
41								100	36	91											
42								100	64	85											
43								100	84	94											
44								100	94	95											
45								100	94	100											
46								100	74	93											
47								100	34	100											
48								100	68	84											
49								100	42	67											
50								100	44	45											
51								51.09	-26.86	[Pattern]		鼻国閉層 下部層	粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	71	100			
52								52.06	-27.83	[Pattern]						凝粒凝灰岩/粗粒凝灰岩 /滑灰色火山凝灰岩 粗粒凝灰岩	ctf/ctf /dctf ctf	灰黒/灰灰・滑灰 ・滑灰灰	100	35	97
53								53.47	-29.24	[Pattern]						滑灰色火山凝灰岩	dctf	灰黒・褐黒/滑灰灰	100	104	100
54								53.96	-29.73	[Pattern]						粗粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	ctf/ctf	黄灰・灰	100	93	95
54								54.17	-29.93	[Pattern]						滑灰色火山凝灰岩	dctf	灰黒・褐黒/滑灰灰	100	21	94
54								54.60	-30.37	[Pattern]						粗粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	ctf/ctf	黄灰・灰	100	40	94
55										[Pattern]									100	42	96
56										[Pattern]									100	14	71
57										[Pattern]									100	26	96
58										[Pattern]									100	40	96
59										[Pattern]					100	36	94				
60										[Pattern]					100	36	56				

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、50.50m~54.60mにやや細粒で成層構造が発達する部分か認められる(P.77のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(18/57)

Ts-8-9孔 深度0m~13m

孔名: Ts-8-9		孔口標高: T.P.35.84m		掘削長: 13.00m		(1 - 1)						
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
0	0.59	35.26	丁	第四系	腐植土	-	褐黒	100			2.95m~9.59m: 風化により軟質化している。	
1	1.88	33.96	丁 〇 〇		ローム		褐	100				
2	2.95	32.89	〇 〇	易固間層 上部層	段丘堆積物	P(N)	暗灰/暗褐	100			6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。	
3			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				
4			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。
5			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				
6			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。
7	6.98	28.86	〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				
8			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。
9			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				
10			〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	100				6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。
11	11.63	24.21	〇 〇		淡灰色火山凝灰岩		灰黒/淡黄褐	tb	灰黒・褐黒 /淡黄灰	100	28	
12			〇 〇	淡灰色火山凝灰岩	灰黒/淡黄灰	tb	灰黒/淡黄灰	100	30	90	6.93m~6.98m: 細粒凝灰岩が分布する。	
13	13.00	22.84	〇 〇	淡灰色火山凝灰岩	灰黒/淡黄灰	tb	灰黒/淡黄灰	100	48	100		

(注) 成層構造が差違する部分に着目し、より詳細に観察した結果、2.95m~6.98mにやや細粒で成層構造が差違する部分
が認められる。3.86m付近がP-11層準(TF5-3)に相当する(P.78のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(19/57)

cf-304孔 深度0m~15m

孔名: cf-304		孔口標高: T.P.36.00m		掘削長: 15.00m		(1 - 1)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	2.61	33.39		-	埋土	-	灰黒/暗褐/淡褐	100	0	100	
2	3.47	32.53		第四系	ロー-A 厚丘堆積物	-	褐/淡褐 灰黒/暗褐	100	0	0	3.87m~10.99m: 風化により軟質化している。
3	3.87	32.13						100	0	0	
4								100	0	0	
5								100	0	0	
6								100	0	0	
7								100	0	0	
8								100	0	0	
9								100	0	0	
10								100	0	0	
11								100	15	15	10.13m: 傾斜角約25°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。 10.39m~10.46m: 細粒凝灰岩が分布する。 10.43m: 厚さ約2.0cmのラー-A(S-11)がある。
12								100	20	20	
13	13.61	22.39						100	36	36	12.69m: 傾斜角約70°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。 13.32m~13.37m: 細粒凝灰岩が分布する。 13.59m~13.61m: 細粒凝灰岩をブロンク状に含む。
14	15.00	21.00						100	39	39	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、9.70m~13.60mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.79のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(20/57)

CB-3孔 深度0m~30m

孔名: CB-3		孔口標高: T.P.25.18m		掘削長: 110.00m (4-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.89	23.29	○○○	第四系	段丘堆積物	-	暗灰・褐灰/暗褐	100	0	0	1.89m~4.70m: 風化により軟質化している。
2			○○○					100	0	0	
3			○○○					100	0	0	
4			○○○					100	24	31	
5			○○○					100	21	33	
6			○○○					100	68	100	
7			○○○					100	59	100	
8			○○○					100	42	100	
9			○○○					100	49	93	
10			○○○					100	50	100	
11			○○○					100	47	100	
12			○○○					100	68	100	
13			○○○					100	59	100	
14			○○○					100	42	100	
15			○○○					100	49	93	
16			○○○					100	50	100	
17			○○○					100	47	100	
18			○○○					100	68	100	
19			○○○					100	59	100	
20			○○○					100	42	100	
21			○○○					100	49	93	
22			○○○					100	50	100	
23			○○○					100	47	100	
24			○○○					100	68	100	
25			○○○					100	59	100	
26			○○○					100	42	100	
27			○○○					100	49	93	
28			○○○					100	50	100	
29			○○○					100	47	100	
30			○○○					100	68	100	

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、28.50m~36.65mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する部分と認められる。29.15m付近がS-1層準(F5-3)に相当する(P.80, 81のコア写真参照)。

29.14m~29.16m: 細粒凝灰岩をレンズ状に含む。

3. 地質柱状図(22/57)

CB-3孔 深度60m~90m

孔名: CB-3		孔口標高: T.P.25.18m		掘削長: 110.00m (4-3)												
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事					
61				易国間層	淡灰色火山礫層灰岩	d0uf	灰黒/淡黄灰	100	57	69	60.99m~61.00m: 灰白色を呈する細粒凝灰岩が分布する。					
62								100	23	91						
63								100	25	68						
64								100	29	68						
65								100	59	87						
66	66.42	-41.24						100	22	90		66.42m~66.45m: 細粒凝灰岩が分布する。 66.43m: 厚さ約2.1cmの「A(S-10)」がある。				
67	66.72	-41.54						100	19	32						
68	68.35	-43.17							易国間層	暗灰色火山礫層灰岩		d0uf	灰黒/暗黄灰	100	23	90
69	68.78	-43.60												100	39	95
70														100	59	76
71			100	23	31											
72			100	39	90											
73			100	40	91											
74			100	24	67											
75			100	36	90											
76			100	62	99											
77			100	45	100											
78	78.36	-53.18		易国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	b0w	黒/暗黄灰	100	34	44	78.36m~89.61m: 凝柱状~岩片状コアを主体とする。					
79								100	11	11						
80								100	6	0						
81								100	13	23						
82								100	11	22						
83								100	16	42						
84								100	11	42						
85								100	13	35						
86								100	15	40						
87								100	25	59						
88			100	22	46											
89			100	13	25											
90			100	13	25											

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、65.30m~66.72mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.82のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(24/57)

SB-003孔 深度30m~60m

孔名: SB-003		孔口標高: T.P.27.03m		掘削長: 318.00m (11 -2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	33.17	-6.14		易固間層 上部層	凝灰角礫岩	aqt	灰黒・褐黒 / 淡黄灰	100	64	94	32.85m~32.86m: 細粒凝灰岩がレンズ状に分布する。 33.16m~33.17m: 細粒凝灰岩がレンズ状に分布する。
32								100	62	92	
33			100	45	100						
34			100	72	89						
35			100	51	93						
36			100	52	91						
37			100	48	95						
38			100	41	94						
39			100	75	100						
40			100	39	100						
41			100	38	94						
42			100	65	100						
43			100	32	83						
44			100	40	95						
45			100	44	100						
46			100	90	100						
47			100	57	100						
48	47.79	-20.76	100	52	93						
49			100	61	94						
50			100	56	100						
51			100	68	100						
52			100	63	91						
53			100	58	100						
54			100	42	95						
55			100	54	97						
56			100	60	100						
57			100	72	93						
58			100	30	94						
59			100	52	100						
60			100								

3. 地質柱状図(25/57)

SB-003孔 深度60m~90m

孔名: SB-003		孔口標高: T.P.27.03m		掘削長: 318.00m (11 - 3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61	60.91	-33.88	易国間層 上部層	易国間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	det	灰黒/淡黄灰	100	40	100	61.29m~61.39m:細粒凝灰岩が分布する。 61.32m:厚さ約5.5mのソー-A(S-10)がある。
61	61.29	-34.26			粗粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	ct	灰	100	24	84	
62	62.13	-35.10	易国間層 下部層	易国間層 下部層	暗灰色火山礫凝灰岩	dtf	黒/暗黄灰	100	42	100	71.00m~71.10m:岩片状コア。 71.30m~71.40m:岩片状コア。
62	62.53	-35.50			細粒凝灰岩/ 暗灰色火山礫凝灰岩/ 粗粒凝灰岩	dtf/dt/cf	灰黒/暗黄灰 ・暗黄灰・暗灰	100	43	92	
63								100	43	100	
64								100	40	85	
65								100	32	86	
66								100	40	85	
67								100	39	98	
68					安山岩溶岩(角礫状)	bav	灰黒/暗黄灰	100	40	95	
69								100	31	70	
70								100	40	85	
71								100	54	94	
72								100	76	100	
73								100	76	93	
74	74.63	-47.60						100	83	100	74.63m~80.00m:粗粒状~柱状コアを主体とする。
75								100	23	83	
76								100	18	55	
77					安山岩溶岩(塊状)	mbv(0)	暗灰	100	24	70	
78								100	18	52	
79								100	25	58	
80	80.00	-52.97						100	42	100	
81					安山岩溶岩(角礫状)	bav	黒/暗黄灰	100	59	59	81.59m~81.72m:岩片状~細片状コア。
82								100	51	100	
83								100	24	77	
84	83.79	-56.76						100	18	47	83.79m~85.85m:柱状~粗粒状コアを主体とする。 84.00m~84.25m:岩片状コア。
85								100	15	27	
86					安山岩溶岩(塊状)	mbv(0)	暗灰	100	23	36	
87								100	43	64	
88								100	60	32	
89								100	18	49	
90								100			

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、60.50m~61.57mこやや細粒で成層構造が発達する部分が発達する部分(P.85のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(26/57)

SB-004孔 深度0m~30m

標尺 (m)		標高 (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.21	19.02	Y Y Y Y Y Y Y Y Y	第四系	腐植土 ローム	-	褐黒 褐	100	0	0	2.00m~6.17m:風化により軟質化している。
2	2.00	18.23						100	0	0	
	1.67	18.56	X X X X X X X X X	奥国間層 上部層	段丘堆積物	p(VV)	灰黒/淡黄褐	100	0	0	6.17m:傾斜角約20°、幅約1.8cmの筋状構造がある。
	2.00	18.23						100	0	0	
			X X X X X X X X X					100	28	79	
			X X X X X X X X X					100	86	86	
			X X X X X X X X X					100	35	87	
			X X X X X X X X X					100	53	91	
			X X X X X X X X X					100	34	100	
			X X X X X X X X X					100	45	100	
			X X X X X X X X X					100	32	100	
			X X X X X X X X X					100	52	97	
			X X X X X X X X X					100	59	100	
			X X X X X X X X X					100	77	92	
			X X X X X X X X X					100	94	94	
			X X X X X X X X X					100	82	98	
			X X X X X X X X X					100	41	100	
			X X X X X X X X X					100	69	100	
			X X X X X X X X X					100	69	99	
			X X X X X X X X X					100	44	100	
			X X X X X X X X X					100	63	100	
			X X X X X X X X X					100	46	91	
			X X X X X X X X X					100	41	93	
			X X X X X X X X X					100	66	95	
			X X X X X X X X X					100	56	97	
			X X X X X X X X X					100	77	96	

22.71m~23.84m:傾斜角約80°~約90°、幅約0.5cmの筋状構造がある。

孔名: SB-004 孔口標高: T.P.20.23m 掘削長: 360.00m (12-1)

3. 地質柱状図(27/57)

SB-004孔 深度30m~60m

孔名: SB-004		孔口標高: T.P.20.23m		掘削長: 360.00m (12-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	48.54	-28.31	[Pattern]	易固間層 上部層	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	30	87	36.90m~36.91m:粗粒凝灰岩が分布する。
32								100	61	100	
33	48.97	-28.74	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	40	100	48.94m~48.97m:細粒凝灰岩が分布する。 48.95m:厚さ約1.2cmのラムラがある。	
34							100	59	100		
35	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	46	100		
36							100	39	100		
37	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	45	100		
38							100	55	100		
39	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	44	100		
40							100	63	100		
41	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	54	100		
42							100	60	100		
43	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	63	100		
44							100	82	100		
45	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	49	100		
46							100	44	100		
47	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	36	100		
48							100	41	100		
49	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	29	91		
50							100	34	89		
51	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	40	100		
52							100	37	89		
53	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	55	91		
54							100	62	99		
55	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	90	100		
56							100	37	100		
57	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	44	100		
58							100	42	100		
59	49	-28.31	[Pattern]	凝灰色火山噴出物灰岩	act	灰黒/淡黄灰	100	53	92		
60							100				

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、36.50m~37.50m, 40.30m~42.00m, 46.60m~48.97m にやや細粒で成層構造が発達する部分(近辺)が認められる。36.91m付近がLS-11層準(T5-3)に相当する(P.87のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(29/57)

SB-004孔 深度90m~120m

孔名: SB-004		孔口標高: T.P.20.23m		掘削長: 360.00m (12-4)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
90.43		-70.20	△△△△	急傾斜層上部層	緑灰色火山礫層状岩	d&t	灰黒/淡黄灰	78	34	58	90.34m~90.43m:粗粒凝灰岩が分布する。
90.78		-70.55	△△△△		緑灰色火山礫層状岩/粗粒凝灰岩	d&t/d&t	灰黒/黄灰・暗黄灰	0	0	0	90.43m~90.50m:粗粒凝灰岩が分布する。
91			△△△△		暗灰色火山礫層状岩	d&t	灰黒/暗黄灰	0	0	0	90.46m:厚さ約6.0cmのレンズ(S-10)がある。
92		-72.82	△△△△					17	19	58	90.78m~92.42m:細片状コア。
93			△△△△					100	17	58	92.88m~92.89m:粗粒凝灰岩が分布する。
94			△△△△					100	16	42	93.01m~93.05m:粗粒凝灰岩が分布する。
95			△△△△					100	12	33	93.34m~94.00m:岩片状コア。
96			△△△△					100	18	24	94.75m~96.22m:岩片状コア。
97			△△△△					100	12	24	
98			△△△△					100	16	30	
99			△△△△					100	12	75	
100			△△△△		安山岩溶岩(角礫状)	b&v	黒/暗黄灰	100	22	96	103.00m~103.44m:岩片状コア。
101			△△△△					100	28	75	103.90m~104.86m:岩片状コア。
102			△△△△					100	16	30	
103			△△△△					100	12	12	104.95m~106.03m:岩片状コア。
104			△△△△					100	9	0	
105			△△△△	急傾斜層下部層				100	0	0	
106			△△△△					100	13	34	
107		-86.69	△△△△					100	7	0	107.06m~107.71m:岩片状コア。
108			△△△△					100	15	25	107.71m~116.05m:粗粒凝灰岩が分布する。
109			△△△△					100	14	25	
110			△△△△		安山岩溶岩(塊状)	m&v①	灰	100	14	28	
111			△△△△					100	15	49	
112			△△△△					100	11	48	
113			△△△△					100	14	11	
114			△△△△					100	12	14	
115			△△△△					100	11	35	
116		-95.82	△△△△					100	47	92	116.05m~116.05m:安山岩溶岩の急傾斜層相が認められる。
117			△△△△					100	23	86	116.05m~116.13m:粗粒凝灰岩が分布する。
118			△△△△		暗灰色火山礫層状岩	d&t	黒/暗灰	100	21	75	
119			△△△△					100	66	100	
120			△△△△					100			



第615回審査会合
机上配布資料 P.41 再掲

3. 地質柱状図(30/57)

SB-006孔 深度0m~30m

標尺 (m)	深度 (m)	標高 (m) T.P.	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	0.45	30.28	〇〇〇	第四系	腐植土	-	黒褐色	100	0	100	3.53m~13.00m:風化による軟質化している。
2	2.31	28.42			ローム		褐	100	0	0	
3	3.53	27.20	〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
4			〇〇〇		段丘堆積物		暗灰/暗褐	100	0	0	
5			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
6			〇〇〇					100	0	0	
7			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
8			〇〇〇					100	0	0	
9			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
10			〇〇〇					100	0	0	
11			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
12			〇〇〇					100	0	0	
13			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
14			〇〇〇					100	0	0	
15			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
16			〇〇〇					100	0	0	
17			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
18			〇〇〇					100	0	0	
19			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	
20			〇〇〇					100	0	0	
21			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	60	96	
22			〇〇〇					100	100	100	
23			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	88	98	
24			〇〇〇					100	100	100	
25			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	93	93	
26			〇〇〇					100	100	100	
27			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	43	100	
28			〇〇〇					100	100	100	
29			〇〇〇	第四系 上部層	段丘堆積物	p3(W)	暗灰/暗褐	100	30	97	
30			〇〇〇					100	100	100	

孔名: SB-006

孔口標高: T.P.30.73m

掘削長: 174.00m

(6 - 1)



3. 地質柱状図(31/57)

SB-006孔 深度30m~60m

孔名: SB-006		孔口標高: T.P.30.73m		掘削長: 174.00m (6-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア採取 率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	46.40	-15.67	XXXXXX	易固間層 上部層	淡灰色火山礫層状岩	alt	灰黒/淡黄灰	100	83	100	45.55m:傾斜角約90°,幅約0.6cmの筋状構造がある。 45.91m~45.93m:細粒凝灰岩が分布する。 46.00m:傾斜角約80°,幅約1.0cmの変位を伴う筋状構造がある。 長掛の筋状変位層は約5.0cmである。 46.27m~46.40m:細粒凝灰岩と淡灰色火山礫層状岩との互層が 分布する。
32								100	54	100	
33								100	94	94	
34								100	100	100	
35								100	52	95	
36								100	44	100	
37								100	94	94	
38								100	100	100	
39								100	99	99	
40								100	100	100	
41								100	75	96	
42								100	54	100	
43								100	46	100	
44	100	30	95								
45	100	51	98								
46	100	53	99								
47	100	31	93								
48	100	60	100								
49	100	39	90								
50	100	37	97								
51	100	46	94								
52	46.11	-25.38	XXXXXX	凝灰角礫岩	tb	褐灰・灰 /淡黄灰	100	72	100		
53							100	62	100		
54							100	53	100		
55							100	65	92		
56							100	88	88		
57							100	57	100		
58							100	30	100		
59							100	30	100		
60							100	57	96		

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、37.40m~38.50m、40.70m~46.40mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。37.50m付近が「MS-1」層準(TF5-3)に相当する(P91のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(32/57)

SB-006孔 深度60m~90m

孔名: SB-006		孔口標高: T.P.30.73m		掘削長: 174.00m (6-3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61			XXXXXX	馬国間層 上部層	凝灰色火山礫凝灰岩	dqt	灰黒/淡黄灰	100	55	96	70.29m~70.25m: 細粒凝灰岩が分布する。 70.32m: 厚さ約6.6cmの「A」(S-10)がある。
62			XXXXXX					100	82	100	
63			XXXXXX					100	79	100	
64			XXXXXX					100	69	100	
65			XXXXXX					100	63	100	
66			XXXXXX					100	57	100	
67			XXXXXX					100	59	92	
68			XXXXXX					100	42	93	
69			XXXXXX					100	34	82	
70	70.29	-39.56	XXXXXX					100	33	45	
71	70.73	-40.00	XXXXXX	馬国間層 下部層	細粒凝灰岩/粗粒凝灰岩 /凝灰色火山礫凝灰岩	dqt/cst/dqt	灰黒/薄黄灰 /薄灰/暗黄灰	100	17	42	71.59m: 細粒凝灰岩を「フロック」状に含む。 71.81m~71.91m: 細粒凝灰岩が分布する。 71.97m~71.99m: 細粒凝灰岩が分布する。
72	71.99	-41.26	XXXXXX					100	17	33	
73			XXXXXX	馬国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bqv	灰黒/暗黄灰	100	12	34	72.70m~72.91m: 岩片状コア。 73.67m~79.28m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
74	73.67	-42.94	XXXXXX					100	17	10	
75			XXXXXX					100	13	53	
76			XXXXXX					100	17	10	
77			XXXXXX					100	25	87	
78			XXXXXX					100	16	16	
79	79.28	-48.55	XXXXXX					100	30	63	
80			XXXXXX					100	37	97	
81			XXXXXX					100	26	50	
82			XXXXXX					100	24	91	
83			XXXXXX	馬国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bqv	灰黒/暗黄灰	100	15	38	84.00m~92.68m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
84	84.00	-53.27	XXXXXX					100	19	19	
85			XXXXXX					100	13	13	
86			XXXXXX					100	13	13	
87			XXXXXX					100	16	32	
88			XXXXXX					100	13	39	
89			XXXXXX					100	13	13	
90			XXXXXX					100	11	13	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、68.65m~71.99mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.92のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(33/57)

SB-007孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)		標高 T.P. (m)		柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	2	3	4	5	6									
0.67	2.34	4.00	30.50	33.83	32.16		第四系	腐植土 ローA 段丘堆積物	-	黒褐色 褐色 暗灰/暗褐色	100 100 100	40 69 30	100 92 61	4.00m~13.00m: 風化により軟質化してV ₂
29.06	29.39	5.14	5.11											
17	16	15	14	13	12		奥国閉層 上部層	淡灰色火山噴出物 淡灰色火山噴出物	-	淡灰/暗灰 淡灰/暗灰 暗灰/暗褐色	100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	40 56 59 53 59 100 57 75 59 61 64 62 63 39 60 52	90 100 98 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	
16	15	14	13	12	11									
15	14	13	12	11	10									
14	13	12	11	10	9									
13	12	11	10	9	8									
12	11	10	9	8	7									
11	10	9	8	7	6									
10	9	8	7	6	5									
9	8	7	6	5	4									
8	7	6	5	4	3									
7	6	5	4	3	2									
6	5	4	3	2	1									
5	4	3	2	1	0									
4	3	2	1	0										

孔名: SB-007 孔口標高: T.P.34.50m 掘削長: 290.00m (10-1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、26.80m~30.50mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される。20.80m付近がS-1層準(F5-3)に相当する(P.93, 94)のコア写真参照。

3. 地質柱状図 (34/57)

SB-007孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	30.54	30.54	3.96		奥国間層	凝灰色火山凝灰岩	dtf	淡黄地	100	38	83	30.44m~30.54m:細粒凝灰岩が分布する。
32			100						40	91		
33			100						55	91		
34			100						51	100		
35			100						37	100		
36			100						75	100		
37			100						25	100		
38			100						42	100		
39	39.47	-4.97	100						67	100		
40			100						35	96		
41			100						56	92		
42			100						39	90		
43			100						90	100		
44			100						43	100		
45			100						63	100		
46			100						46	100		
47			100						54	100		
48			100						48	100		
49			100						39	100		
50			100						69	100		
51			100						68	100		
52			100						76	86		
53	52.90	-18.40	100						26	81	53.18m~53.25m:細粒凝灰岩が分布する。 53.21m:厚さ約5.4cmのラーA(S-10)がある。 54.37m~54.58m:細粒凝灰岩が分布する。 54.46m:厚さ約1.6cmのラーAがある。	
53	53.18	-18.68	100						26	81		
54	53.62	-19.12	100						45	85		
54	54.37	-19.87	100						57	92		
55	54.98	-20.48	100						51	95		
56			100						51	100		
57			100						51	100		
58			100						29	73		
59			100						76	100		
60			100									

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、52.30m~54.98mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.94のコア写真参照)。

孔名: SB-007 孔口標高: T.P.34.50m 掘削長: 290.00m (10 - 2)

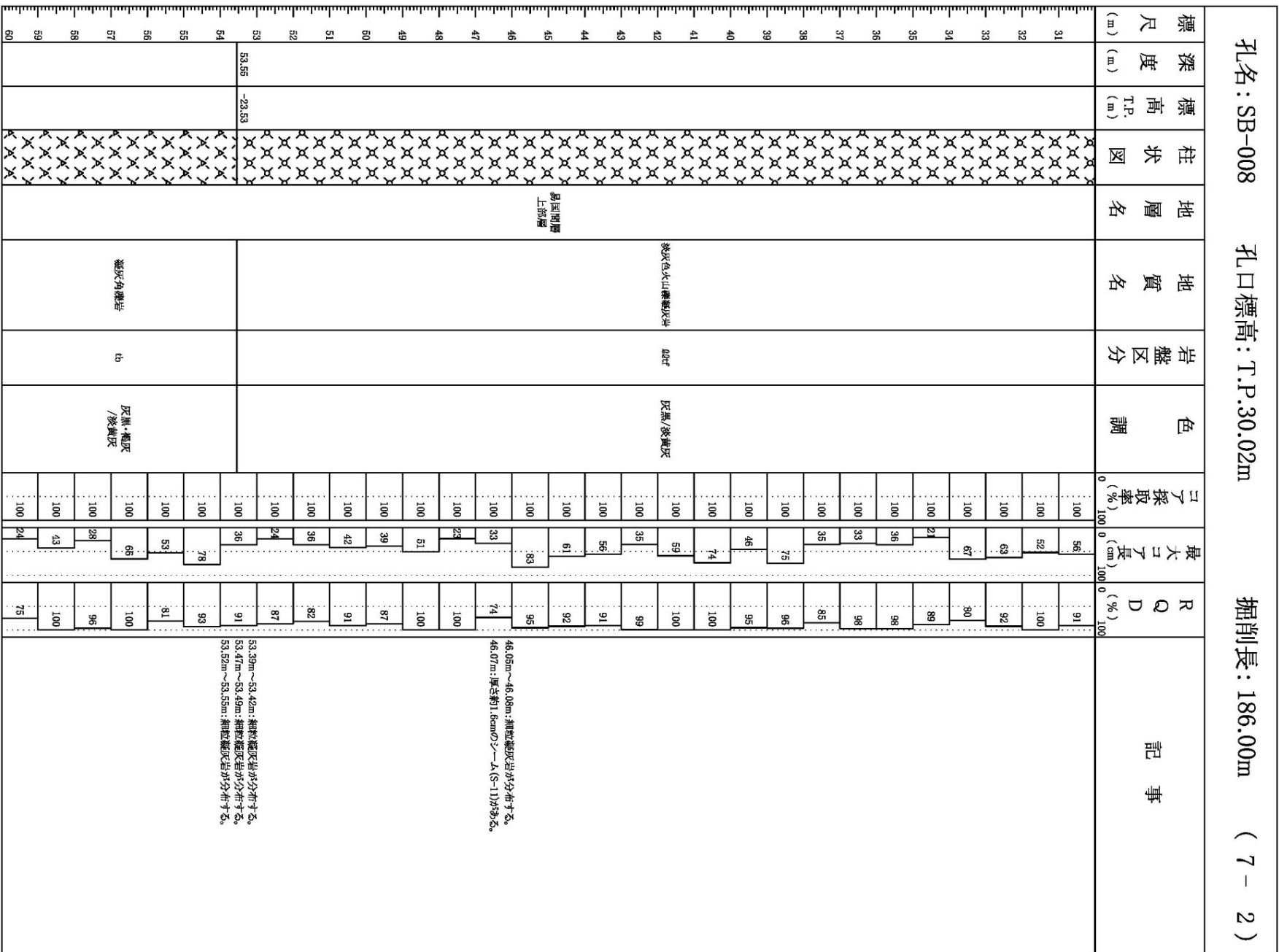
3. 地質柱状図(35/57)

SB-008孔 深度0m~30m

孔名: SB-008		孔口標高: T.P.30.02m		掘削長: 186.00m (7-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30											27.40m~27.42m: 傾斜角約45°, 幅約1cmの層状構造がある。 27.42m: 開口した割れ目がある。 28.71m: 開口した割れ目がある。 28.71m~28.73m: 傾斜角約35°, 幅約2cmの層状構造がある。
29											
28											
27											
26											
25											
24											
23											
22											
21											
20											
19											
18											
17											
16											
15											
14											
13											
12											
11											
10											
9											
8											
7											
6	6.28	23.74									
5				第四系	段丘堆積物		暗灰/灰褐色/暗褐色	100			
4	4.26	25.76					褐色	100			
3	3.00	27.02					暗灰/暗褐色	100			
2								100			
1								100			
6.28m~19.77m: 風化により軟質化している。											

3. 地質柱状図(36/57)

SB-008孔 深度30m~60m



注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、46.05m~47.75m, 52.18m~53.55mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.96のコア写真参照)。

孔名: SB-008

孔口標高: T.P.30.02m

掘削長: 186.00m

(7-2)



3. 地質柱状図(37/57)

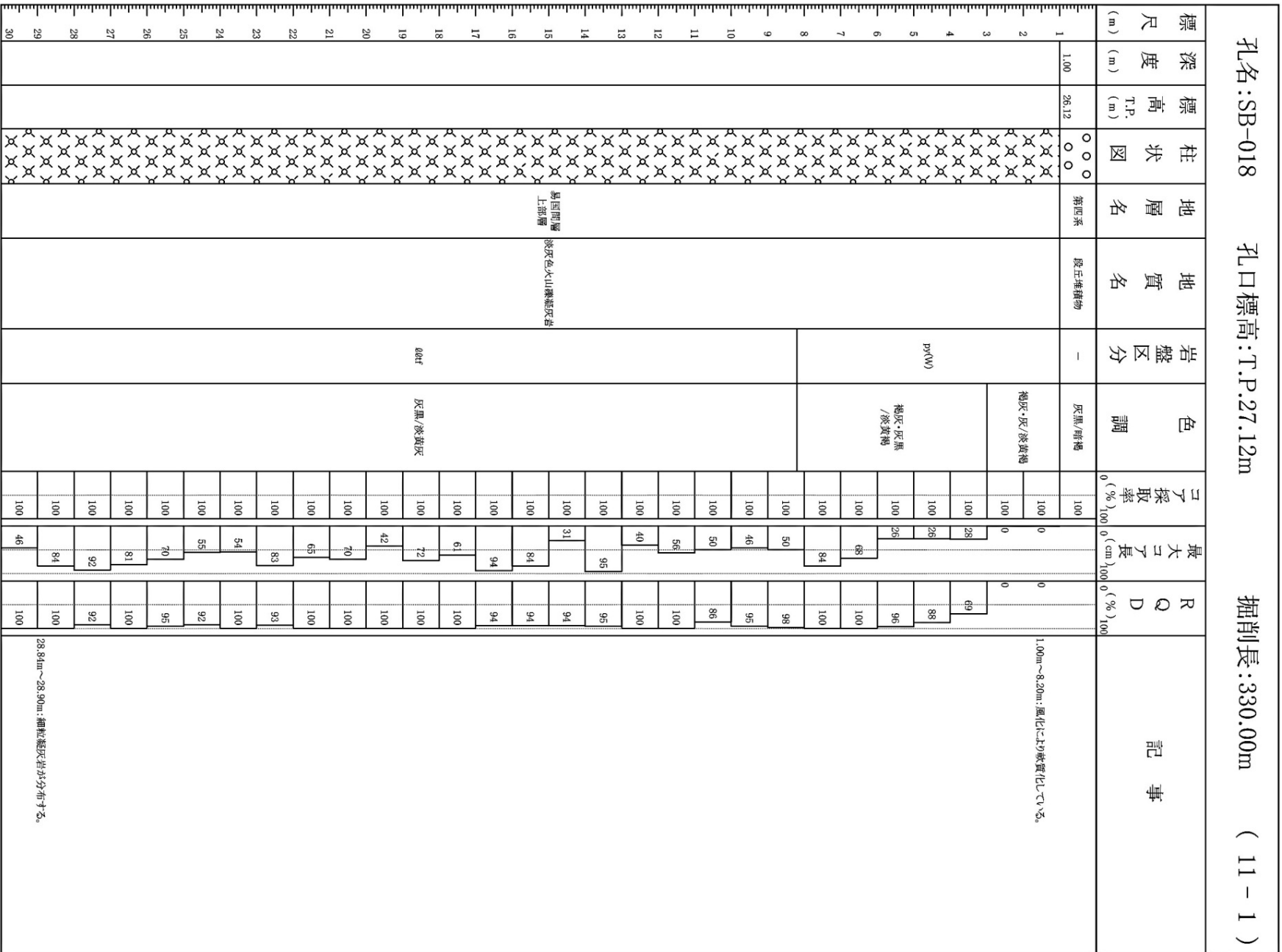
SB-008孔 深度60m~90m

孔名: SB-008		孔口標高: T.P.30.02m		掘削長: 186.00m		(7 - 3)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61	66.36	-36.34		島田層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐灰 / 淡黄灰	100	51	91	71.35m~71.64m: 岩片状コア。 72.15m: 傾斜角約80°、幅約1cmの脈状構造がある。 72.50m: 傾斜角約80°、幅約1cmの脈状構造がある。 73.32m: 傾斜角約40°、幅約0.7cmの脈状構造がある。 79.69m~79.72m: 細粒凝灰岩が分布する。 79.73m: 厚さ約0.3cmのベンダー(S-10)がある。 83.54m: 傾斜角約60°~約70°の脈層(c-f)がある。 脈層幅は約10cmであるが、その内側は固結している。
60	66.36	-36.34						100	50	100	
59	66.36	-36.34						100	49	100	
58	66.36	-36.34						100	64	97	
57	66.36	-36.34						100	40	100	
56	66.36	-36.34						100	32	100	
55	66.36	-36.34						100	62	100	
54	66.36	-36.34						100	32	82	
53	66.36	-36.34						100	29	99	
52	66.36	-36.34						100	44	99	
51	66.36	-36.34	100	31	78						
50	66.36	-36.34	100	51	91						
49	66.36	-36.34	100	40	100						
48	66.36	-36.34	100	32	100						
47	66.36	-36.34	100	64	97						
46	66.36	-36.34	100	40	100						
45	66.36	-36.34	100	32	100						
44	66.36	-36.34	100	64	97						
43	66.36	-36.34	100	40	100						
42	66.36	-36.34	100	32	100						
41	66.36	-36.34	100	64	97						
40	66.36	-36.34	100	40	100						
39	66.36	-36.34	100	32	100						
38	66.36	-36.34	100	64	97						
37	66.36	-36.34	100	40	100						
36	66.36	-36.34	100	32	100						
35	66.36	-36.34	100	64	97						
34	66.36	-36.34	100	40	100						
33	66.36	-36.34	100	32	100						
32	66.36	-36.34	100	64	97						
31	66.36	-36.34	100	40	100						
30	66.36	-36.34	100	32	100						
29	66.36	-36.34	100	64	97						
28	66.36	-36.34	100	40	100						
27	66.36	-36.34	100	32	100						
26	66.36	-36.34	100	64	97						
25	66.36	-36.34	100	40	100						
24	66.36	-36.34	100	32	100						
23	66.36	-36.34	100	64	97						
22	66.36	-36.34	100	40	100						
21	66.36	-36.34	100	32	100						
20	66.36	-36.34	100	64	97						
19	66.36	-36.34	100	40	100						
18	66.36	-36.34	100	32	100						
17	66.36	-36.34	100	64	97						
16	66.36	-36.34	100	40	100						
15	66.36	-36.34	100	32	100						
14	66.36	-36.34	100	64	97						
13	66.36	-36.34	100	40	100						
12	66.36	-36.34	100	32	100						
11	66.36	-36.34	100	64	97						
10	66.36	-36.34	100	40	100						
9	66.36	-36.34	100	32	100						
8	66.36	-36.34	100	64	97						
7	66.36	-36.34	100	40	100						
6	66.36	-36.34	100	32	100						
5	66.36	-36.34	100	64	97						
4	66.36	-36.34	100	40	100						
3	66.36	-36.34	100	32	100						
2	66.36	-36.34	100	64	97						
1	66.36	-36.34	100	40	100						
0	66.36	-36.34	100	32	100						
90	80.48	-50.46	100	40	100						
89	80.48	-50.46	100	31	89						
88	80.48	-50.46	100	70	100						
87	80.48	-50.46	100	31	89						
86	80.48	-50.46	100	70	100						
85	80.48	-50.46	100	31	89						
84	80.48	-50.46	100	70	100						
83	80.48	-50.46	100	31	89						
82	80.48	-50.46	100	70	100						
81	80.48	-50.46	100	31	89						
80	80.48	-50.46	100	70	100						
79	79.69	-49.67	100	69	92						
78	79.69	-49.67	100	100	100						
77	79.69	-49.67	100	73	92						
76	79.69	-49.67	100	50	82						
75	79.69	-49.67	100	45	100						
74	79.69	-49.67	100	41	100						
73	79.69	-49.67	100	37	97						
72	79.69	-49.67	100	60	100						
71	79.69	-49.67	100	22	50						
70	79.69	-49.67	100	32	74						
69	79.69	-49.67	100	40	100						
68	79.69	-49.67	100	64	97						
67	79.69	-49.67	100	49	100						
66	79.69	-49.67	100	50	100						

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、79.45m~80.48mにやや細粒で成層構造が発達する部分がある(図参照)。

3. 地質柱状図(38/57)

SB-018孔 深度0m~30m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、28.55m~29.40mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される。28.87m付近が「S-11層準(F15-3)」に相当する(P.98のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(39/57)

SB-018孔 深度30m~60m

孔名: SB-018		孔口標高: T.P.27.12m		掘削長: 330.00m (11 - 2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31								100	55	100	36.08m~36.15m:粗粒凝灰岩が分布する。 36.69m~36.80m:細粒凝灰岩が分布する。
32				100	31	100					
33				100	68	100					
34				100	46	100					
35				100	76	90					
36	36.80	-9.68		100	68	93					
37				100	39	100					
38				100	53	98					
39				100	43	100					
40				100	71	100					
41				100	91	91					
42				100	69	100					
43				100	71	96					
44				100	40	93					
45				100	44	83					
46				100	65	100					
47				100	44	91					
48				100	45	100					
49				100	63	100					
50	49.68	-22.56	100	68	100						
51			100	61	100						
52			100	45	97						
53			100	61	100						
54			100	38	93						
55			100	58	100						
56			100	51	94						
57			100	62	93						
58			100	67	100						
59			100	54	100						
60			100		100						

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、32.25m~36.80mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.99のコ写真参照)。

3. 地質柱状図(40/57)

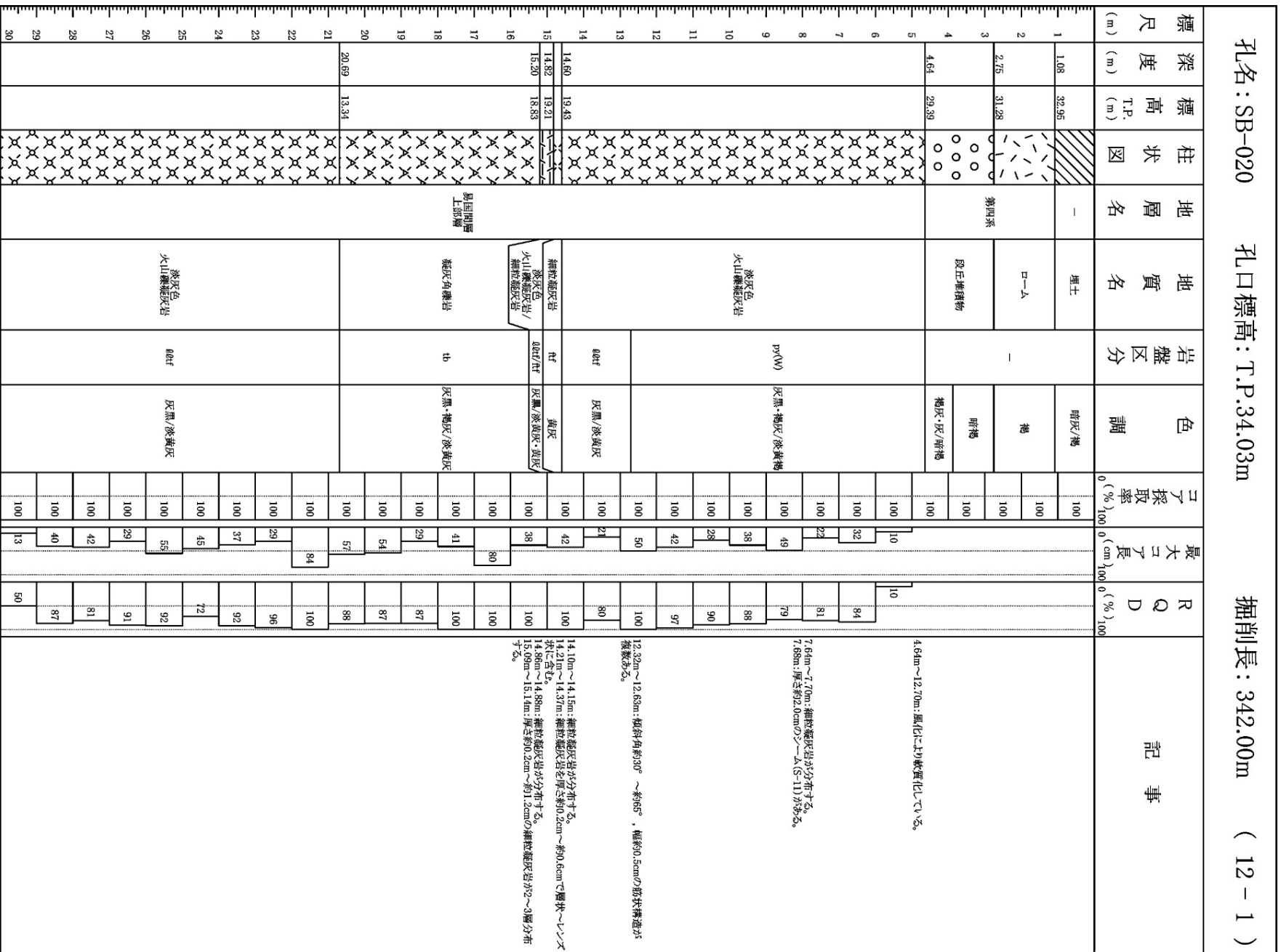
SB-018孔 深度60m~90m

孔名: SB-018		孔口標高: T.P.27.12m		掘削長: 330.00m		(11 - 3)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
64	64.23	-57.11	易固間層 上部層	易固間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	d0t	灰黒/淡黄灰	100	94	100	64.23m~64.23m: 細粒凝灰岩が分布する。 64.25m: 厚さ約3.8cmのラック(S-10)がある。
65	64.89	-57.88						100	100		
66	65.76	-58.64	易固間層 下部層	易固間層 下部層	暗灰色火山礫凝灰岩	d0t	灰黒・灰/暗黄灰 粗灰	100	76	94	65.54m: 細粒凝灰岩をコアコア中に含む。 65.61m~65.77m: 細粒凝灰岩が分布する。
67	66.63	-59.51						100	91		
70	70.85	-43.73	易固間層 下部層	易固間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	b0v	灰黒/暗黄灰	100	37	92	70.85m~78.50m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
71	71.72	-44.60						100	92		
72	72.59	-45.47						100	16	53	
73	73.46	-46.34						100	11	11	
74	74.33	-47.21						100	15	38	
75	75.20	-48.08						100	12	12	
76	76.07	-48.95						100	19	57	
77	76.94	-49.82						100	12	58	
78	77.81	-50.69						100	38	77	
79	78.68	-51.56						100	24	65	
80	79.55	-52.43						100	21	57	
81	80.42	-53.30						100	22	54	
82	81.29	-54.17	100	25	60						
83	82.16	-55.04	100	25	95						
84	83.03	-55.91	100	25	58						
85	83.90	-56.78	100	22	87						
86	84.77	-57.65	100	29	100						
87	85.64	-58.52	100	34	72						
88	86.51	-59.39	100	30	92						
89	87.38	-60.26	100	65							
90	88.25	-61.13	100								

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、63.80m~65.76mにやや細粒で成層構造が発達する部分が発見される(P.1000のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(41/57)

SB-020孔 深度0m~30m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、7.30m~15.20m、26.20m~27.50m、29.80m~33.86mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.101、102のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(42/57)

SB-020孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31		30.91	3.12		奥国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	dtf	灰黒/淡黄灰	100	23	51	掘削長: 342.00m (12-2) 31.45m~31.57m: 粗粒凝灰岩が分布する。 31.50m: 厚さ約3.8cmの「云」(S-10)がある。 33.45m~33.52m: 粗粒凝灰岩が分布する。 33.85m~36.89m: 短柱状~岩片状コアを主体とする。
31		31.46	2.57			粗粒凝灰岩	ctf	淡灰	100	20	48	
32		32.25	1.78	細粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	dtf/dctf/ctf	一・灰黒、一 灰黒/暗黄灰	100	41	89			
33		32.97	1.06	火山礫凝灰岩	dctf	灰黒/暗黄灰	100	17	52			
33		33.52	0.51	粗粒凝灰岩	dtf	黄灰	100	24	80			
34		33.86	0.17	粗粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	dtf/ctf	一・灰黒、一 灰黒/暗黄灰・暗灰	100	59	96			
35					奥国間層 下部層	安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	灰黒	100	28	90	
36		36.89	-2.86			安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	灰黒	100	62	96	
37						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	24	80	
38						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	62	90	
39						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	33	82	
40						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	65	91	
41						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	54	91	
42						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	65	91	
43						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	70	100	
44						安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	65	100	
45				安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	47	100			
46				安山岩溶岩(塊状)	lbr	灰黒/暗黄灰	100	56	100			
47		47.52	-13.49	安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	29	82			
48				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	47	78			
49				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	46	100			
50				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	41	100			
51				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	45	92			
52				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	36	95			
53				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	36	100			
54				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	27	88			
55				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	21	88			
56				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	19	89			
57				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	32	82			
58				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	32	97			
59				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	32	89			
60				安山岩溶岩(塊状)	mbv(i)	暗灰	100	32	89			

3. 地質柱状図(43/57)

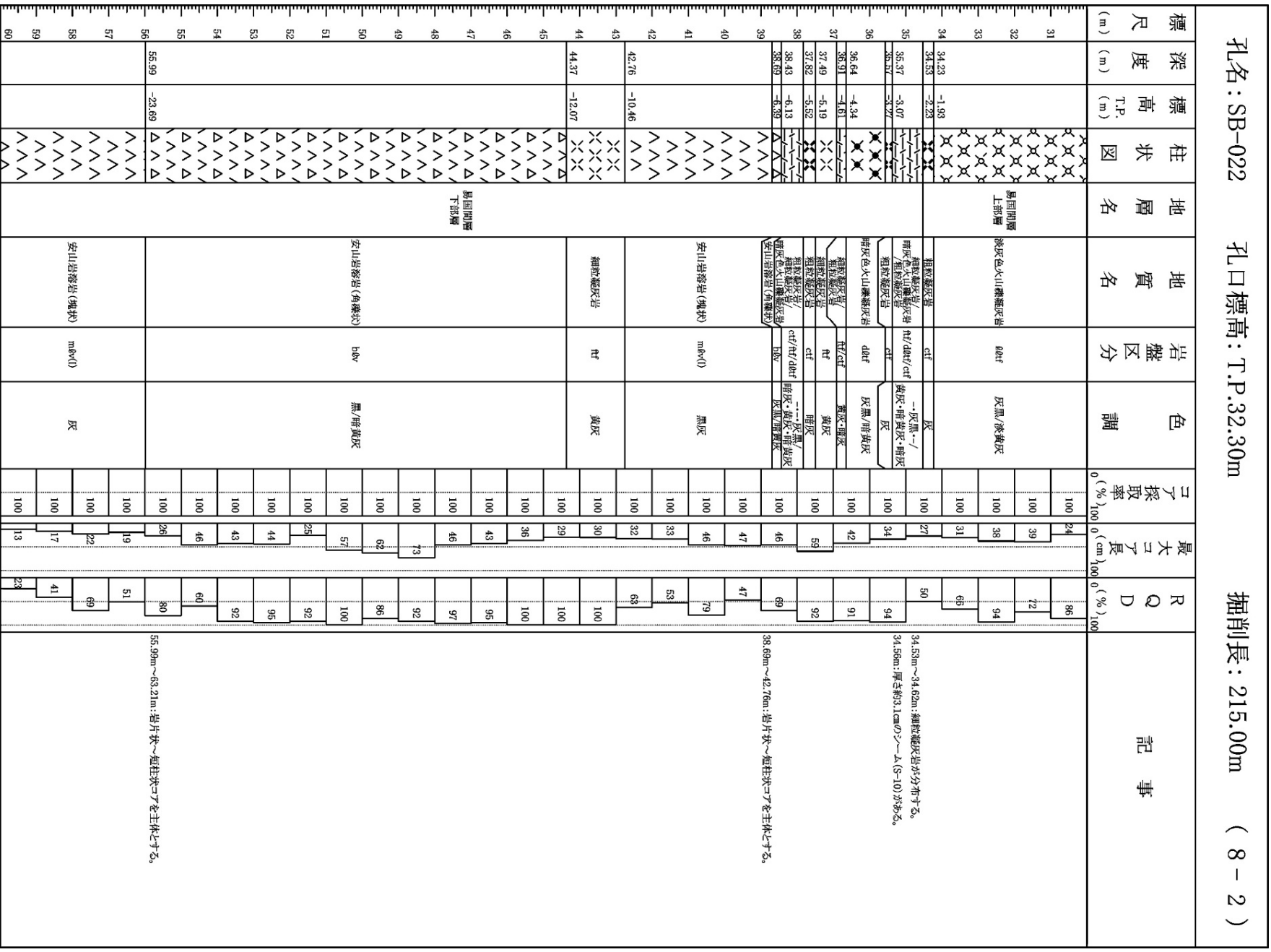
SB-022孔 深度0m~30m

孔名: SB-022		孔口標高: T.P.32.30m		掘削長: 215.00m (8-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	0.59	31.71	丁丁	第四系	礫積土		褐	100			5.04m~9.18m:風化により軟質化している。 9.16m~9.21m:細粒凝灰岩が分布する。 9.19m:厚さ約2.8mmのシーム(S-11)がある。
2					ローム	-		100			
3					段丘堆積物		褐色・灰黒/暗褐	100			
4	4.02	28.28	〇〇〇					100			
5	5.04	27.26	〇〇〇					100			15.92m~15.96m:細粒凝灰岩が分布する。 16.33m~16.43m:細粒凝灰岩が分布する。
6								100			
7						pn(V)	灰黒/淡黄褐	100	44	100	
8								100	61	97	
9								100	49	96	
10								100	46	90	
11								100	75	100	
12								100	76	100	
13						00tF	灰黒/淡黄灰	100	65	91	
14								100	68	96	
15								100	65	85	
16	16.43	15.87	×××	鼻国間層 上部層				100	54	90	
17								100	43	91	
18								100	29	53	
19								100	29	69	
20						tb	灰黒・褐黒/淡黄灰	100	48	89	
21								100	29	79	
22								100	20	100	
23								100	43	100	
24	23.69	8.61	×××					100	75	88	
25								100	35	94	
26								100	34	81	
27								100	34	83	
28								100	24	81	
29								100	34	78	
30								100	32	82	

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、8.85m~10.00m、13.80m~16.43mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.103のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(44/57)

SB-022孔 深度30m~60m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、33.79m~35.57m、36.64m~38.43mにやや細粒で成層構造が発達する部分がある(図P.104のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(45/57)

SB-023孔 深度0m~30m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	0.22	1.00	11.09		第四系	段丘堆積物	-	褐灰・灰黒/暗褐	100	0	0	1.00m~4.72m: 風化により軟質化している。
2								灰黒/淡黄褐	100	18	18	4.71m~4.73m: 細粒凝灰岩が分布する。 4.72m: 厚さ約2.0mmのシーラ(S-11)がある。
3								灰黒/淡黄灰	100	43	75	
4								灰黒/淡黄灰	100	56	78	
5								灰黒/淡黄灰	100	49	100	
6								灰黒/淡黄灰	100	40	97	12.19m~12.22m: 細粒凝灰岩が分布する。 12.97m~13.02m: 細粒凝灰岩が分布する。
7								灰黒/淡黄灰	100	50	100	
8								灰黒/淡黄灰	100	53	92	
9								灰黒/淡黄灰	100	67	91	
10								灰黒/淡黄灰	100	55	100	
11								灰黒/淡黄灰	100	91	91	
12								灰黒/淡黄灰	100	44	100	
13	13.02	-0.33						灰黒/淡黄灰	100	35	85	
14					奥国間層 上部層		灰黒/淡黄灰	100	59	98		
15							灰黒/淡黄灰	100	52	92		
16							灰黒/淡黄灰	100	41	96		
17							灰黒/淡黄灰	100	60	98		
18							灰黒/淡黄灰	100	49	91		
19							灰黒/淡黄灰	100	38	96		
20							灰黒/淡黄灰	100	77	91		
21							灰黒/淡黄灰	100	30	100		
22							灰黒/淡黄灰	100	59	87		
23							灰黒/淡黄灰	100	45	100		
24							灰黒/淡黄灰	100	94	100		
25							灰黒/淡黄灰	100	75	100		
26							灰黒/淡黄灰	100	48	100		
27							灰黒/淡黄灰	100	49	91		
28	27.72	-15.63					灰黒/淡黄灰	100	83	100		
29							灰黒/淡黄灰	100	54	93		
30							灰黒/淡黄灰	100				

孔名: SB-023

孔口標高: T.P.12.09m

掘削長: 90.00m

(3 - 1)

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、4.60m~5.00m、7.70m~9.35m、11.40m~13.02mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.105のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(46/57)

SB-023孔 深度30m~60m

標尺 (m)		深度 (m)	標高 (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	32	41.83	-29.24		鼻国間層 上部層	淡灰色火山礫層灰岩	d&t	灰黒/淡黄灰	100	92	92	55.13m:傾斜角約50° 幅約0.5cmの筋状構造がある。 35.78m:傾斜角約60° 幅約0.2cmの筋状構造がある。 37.29m:傾斜角約60° 幅約0.5cmの筋状構造がある。
30	41.83	-29.24	100						90	92		
29	41.83	-29.24	100						90	92		
28	41.83	-29.24	100						90	92		
27	41.83	-29.24	100						90	92		
26	41.83	-29.24	100						90	92		
25	41.83	-29.24	100						90	92		
24	41.83	-29.24	100						90	92		
23	41.83	-29.24	100						90	92		
22	41.83	-29.24	100						90	92		
21	41.83	-29.24	100	90	92	41.83m~41.90m:細粒凝灰岩が分布する。 41.84m:厚さ約1.6cmのS-10がある。 43.13m~43.15m:細粒凝灰岩が分布する。						
20	41.83	-29.24	100	90	92							
19	41.83	-29.24	100	90	92							
18	41.83	-29.24	100	90	92							
17	41.83	-29.24	100	90	92							
16	41.83	-29.24	100	90	92							
15	41.83	-29.24	100	90	92							
14	41.83	-29.24	100	90	92							
13	41.83	-29.24	100	90	92							
12	41.83	-29.24	100	90	92							
11	41.83	-29.24	100	90	92	54.14m~55.63m:岩片状~短柱状コアを主体とする。 54.46m:傾斜角約60°の筋状構造があり、厚さ約0.5cmの白色物質を挟み、CVがある。節理周辺が幅約0.5cm~約1.0cmで褐色に染みしている。 55.63m~64.84m:柱状コアを主体とする。						
10	41.83	-29.24	100	90	92							
9	41.83	-29.24	100	90	92							
8	41.83	-29.24	100	90	92							
7	41.83	-29.24	100	90	92							
6	41.83	-29.24	100	90	92							
5	41.83	-29.24	100	90	92							
4	41.83	-29.24	100	90	92							
3	41.83	-29.24	100	90	92							
2	41.83	-29.24	100	90	92							
1	41.83	-29.24	100	90	92							

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、41.30m~42.92mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.106のコア写真参照)。

孔名: SB-023

孔口標高: T.P.12.09m

掘削長: 90.00m

(3 - 2)

3. 地質柱状図(47/57)

SB-031孔 深度0m~30m

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	2.37	27.64		-	粗土	-	褐色/黄褐色	100	0	0	5.29m~11.86m:風化土(砂)軟化LTC1-V5.
2	4.07	25.94		第四系	ロ-A 段丘堆積物	-	褐色	100	14	48	
3	5.29	24.72					暗灰/暗褐色	100	8	37	
4								100	14	48	
5								100	13	60	
6								100	25	88	
7								100	20	96	
8								100	48	96	
9								100	34	95	
10								100	42	100	
11								100	42	100	
12								100	37	100	
13								100	41	97	
14								100	51	90	
15								100	39	100	
16								100	44	91	
17								100	52	92	
18								100	42	90	
19								100	64	100	
20								100	37	100	
21								100	40	90	
22								100	39	100	
23								100	53	100	
24								100	69	100	
25								100	37	91	
26								100	77	100	
27								100			
28								100			
29								100			
30								100			

孔名: SB-031

孔口標高: T.P.30.01m

掘削長: 130.00m

(5 - 1)

3. 地質柱状図(48/57)

SB-031孔 深度30m~60m

孔名: SB-031		孔口標高: T.P.30.01m		掘削長: 130.00m		(5 - 2)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	52.41	-22.40	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	100	51	100	35.17m: 傾斜角約70° 傾斜1.0cmの遊水構造がある。
32								100	65	100	
33	52.41	-22.40	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	[Pattern]	100	59	96	52.02m~52.06m: 細粒凝灰岩が分布する。 52.30m~52.41m: 細粒凝灰岩に赤灰色火山礫凝灰岩の互層が分布する。
34								100	22	91	
35								100	29	93	
36								100	46	93	
37								100	36	100	
38								100	48	100	
39								100	57	100	
40								100	39	100	
41								100	60	100	
42								100	90	100	
43								100	50	100	
44								100	93	93	
45								100	35	95	
46								100	52	100	
47								100	46	100	
48	100	31	100								
49	100	27	100								
50	100	34	100								
51	100	38	100								
52	100	21	70								
53	100	30	75								
54	100	20	69								
55	100	34	70								
56	100	24	67								
57	100	19	62								
58	100	25	100								
59	100	31	92								

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、43.70m~44.55m、46.80m~47.60m、48.45m~52.41m にやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。44.30m付近がS-11層準(T5-3)に相当する(P.108のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(49/57)

SB-031孔 深度60m~90m

孔名: SB-031		孔口標高: T.P.30.01m		掘削長: 130.00m (5 - 3)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61			△△△△	異国層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・褐黒/淡黄灰	100	37	100	63.19m~63.34m:細片状コア。
62			△△△△					100	28	88	
63			△△△△					100	27	79	
64	64.66	-34.64	△△△△					100	28	74	
65			△△△△					100	25	92	
66			△△△△					100	38	84	
67			△△△△					100	54	100	
68			△△△△					100	58	100	
69			△△△△					100	40	96	
70			△△△△					100	30	61	
71			△△△△	100	38	66					
72			△△△△	100	40	92					
73			△△△△	100	62	92					
74			△△△△	100	100	100					
75			△△△△	100	46	92					
76			△△△△	100	28	100					
77			△△△△	100	49	91					
78	78.34	-48.33	△△△△	100	33	100					
79	78.78	-48.77	△△△△	100	23	83					
80			△△△△	100	16	54					
81			△△△△	100	33	100					
82			△△△△	100	55	100					
83			△△△△	100	48	92					
84			△△△△	100	44	100					
85			△△△△	100	69	100					
86			△△△△	100	48	100					
87			△△△△	100	25	37					
88			△△△△	100	28	48					
89			△△△△	100	38	77					
90			△△△△	100	29	96					

77.93m~78.04m:粗粒凝灰岩が分布する。
78.20m~78.34m:粗粒凝灰岩が分布する。
78.34m~78.35m:粗粒凝灰岩が分布する。
78.35m:厚さ約1.5cmの「A」(S-10)がある。

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、77.75m~78.78mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.109のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(51/57)

SB-032孔 深度30m~60m

孔名: SB-032		孔口標高: T.P.26.13m		掘削長: 327.00m (11-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31			[Columnar diagram showing soil layers with patterns]	[Soil layer names]	[Geological names]	[Rock classifications]	[Color codes]	100	47	91	[Notes]
32								100	37	93	
33								100	34	98	
34								100	61	100	
35								100	41	94	
36								100	35	96	
37								100	43	97	
38								100	29	71	
39								100	43	100	
40								100	73	100	
41			100	53	100	317.78m~37.96m: 岩片状コア。					
42			100	62	100						
43			100	38	100						
44			100	56	92						
45			100	62	100						
46			100	40	100						
47			100	87	100						
48			100	53	100						
49			100	36	84						
50			100	24	79						
51			100	35	84	51.34m~52.42m: 細粒凝灰岩が分布する。 51.38m: 厚さ約0.6cmのシミムがある。					
52			100	61	100						
53			100	50	88	42.80m~42.82m: 粗粒分を含む細粒凝灰岩がレンズ状に分布する。					
54			100	31	93						
55			100	64	97						
56			100	46	100						
57			100	37	100						
58			100	40	94						
59			100	32	92						
60			100								

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、42.40m~43.15m、50.30m~51.42mにやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる。42.81m付近がビーナス-11層準(FT-3)に相当する(P.111のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(52/57)

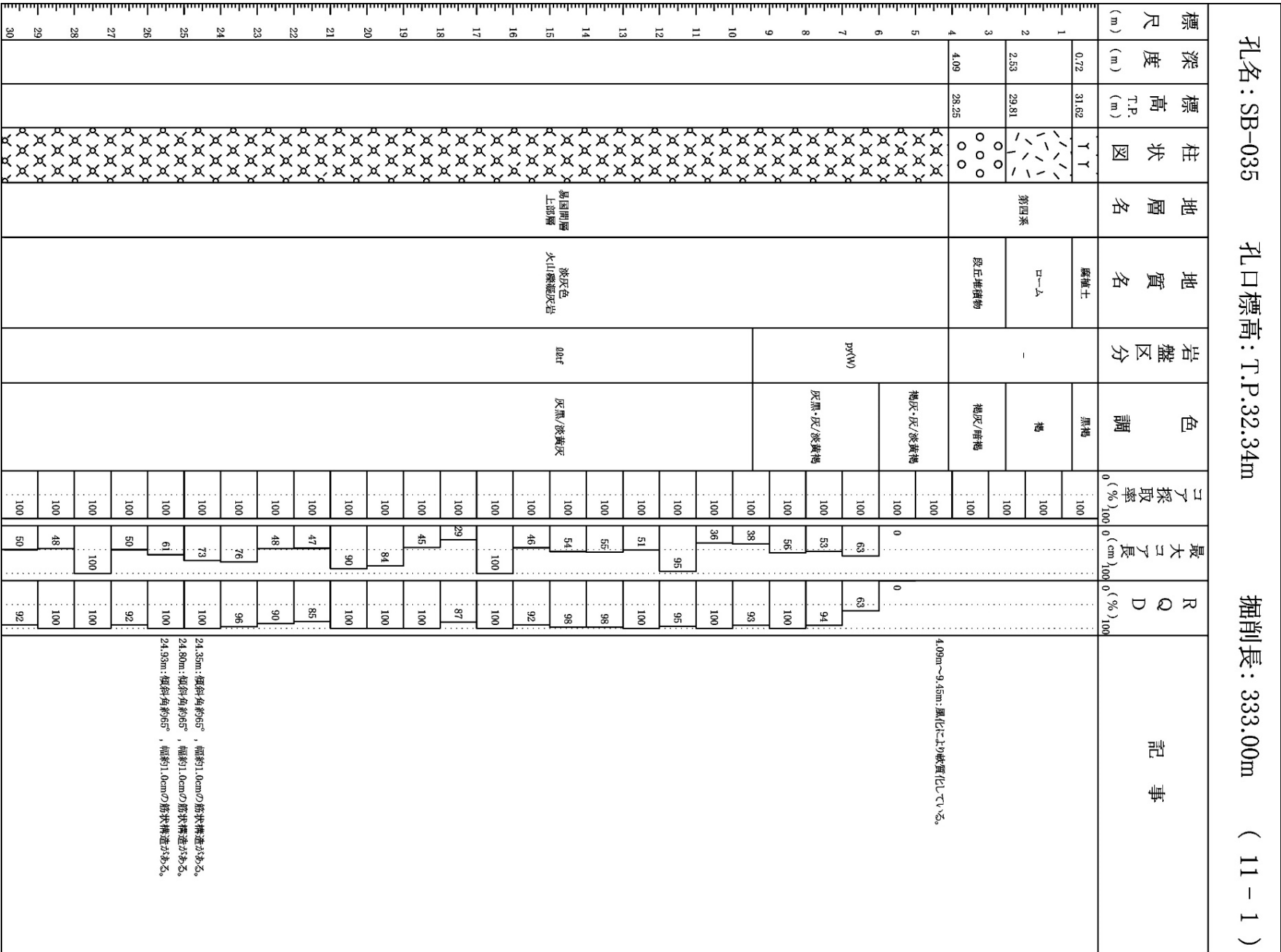
SB-032孔 深度60m~90m

孔名: SB-032		孔口標高: T.P.26.13m		掘削長: 327.00m		(11 - 3)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
61			△△△△	易固間層 上部層	凝灰角礫岩	tb	灰黒・灰・粗灰 /淡黄灰	100	43	100	75.79m: 傾斜角約90°~約95°の断層(±3)がある。 断層幅は約10cmであるが、その内断層は両辺岩盤より強固固結している。
62			△△△△					100	46	90	
63			△△△△	易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	0atf	灰・灰黒/淡黄灰	100	36	100	75.79m: 傾斜角約90°~約95°の断層(±3)がある。 断層幅は約10cmであるが、その内断層は両辺岩盤より強固固結している。
64			△△△△					100	55	99	
65	65.37	-39.24	△△△△					100	78	100	
66			△△△△					100	46	92	
67			△△△△					100	84	100	
68			△△△△					100	62	100	
69			△△△△					100	100	100	
70			△△△△					100	62	98	
71			△△△△					100	56	92	
72			△△△△					100	58	95	
73			△△△△	100	70	93					
74			△△△△	100	38	86					
75			△△△△	100	64	100					
76			△△△△	100	49	94					
77			△△△△	100	27	92					
78			△△△△	100	59	92					
79			△△△△	100	43	99					
80			△△△△	100	45	95					
81			△△△△	100	63	78					
82	81.93	-55.80	△△△△	暗灰色 火山礫凝灰岩 /粗粒凝灰岩	d&t/nt	灰黒・ /暗黄灰・黄灰	100	24	84	81.76m~81.93m: 粗粒凝灰岩が分布する。 81.93m~81.98m: 粗粒凝灰岩が分布する。 81.94m: 厚さ約3.5cmのレンズ(±10)がある。	
83	82.26	-56.13	△△△△				100	27	90		
84			△△△△	易固間層 下部層	安山岩溶岩 (角礫状)	bb*	灰黒/暗黄灰	100	42	77	85.53m~85.56m: 傾斜角約60° 幅約2.0cmの断層構造がある。見掛け の断層変位量は不明、密着している。
85			△△△△					100	70	81	
86			△△△△					100	54	96	
87			△△△△					100	26	87	
88			△△△△					100	38	100	
89			△△△△					100	25	62	
90			△△△△					100	25		

(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、80.80m~82.26mにやや細粒で成層構造
が発達する部分が認められる(P.112のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(53/57)

SB-035孔 深度0m~30m



孔名: SB-035 孔口標高: T.P.32.34m 掘削長: 333.00m (11-1)

24.35m:傾斜角約65°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。
24.80m:傾斜角約65°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。
24.93m:傾斜角約65°, 幅約1.0cmの筋状構造がある。

(注) 28.31m付近がズームS-11層準(FT5-3)に相当する(P.113のコア写真参照)。

3. 地質柱状図(54/57)

SB-035孔 深度30m~60m

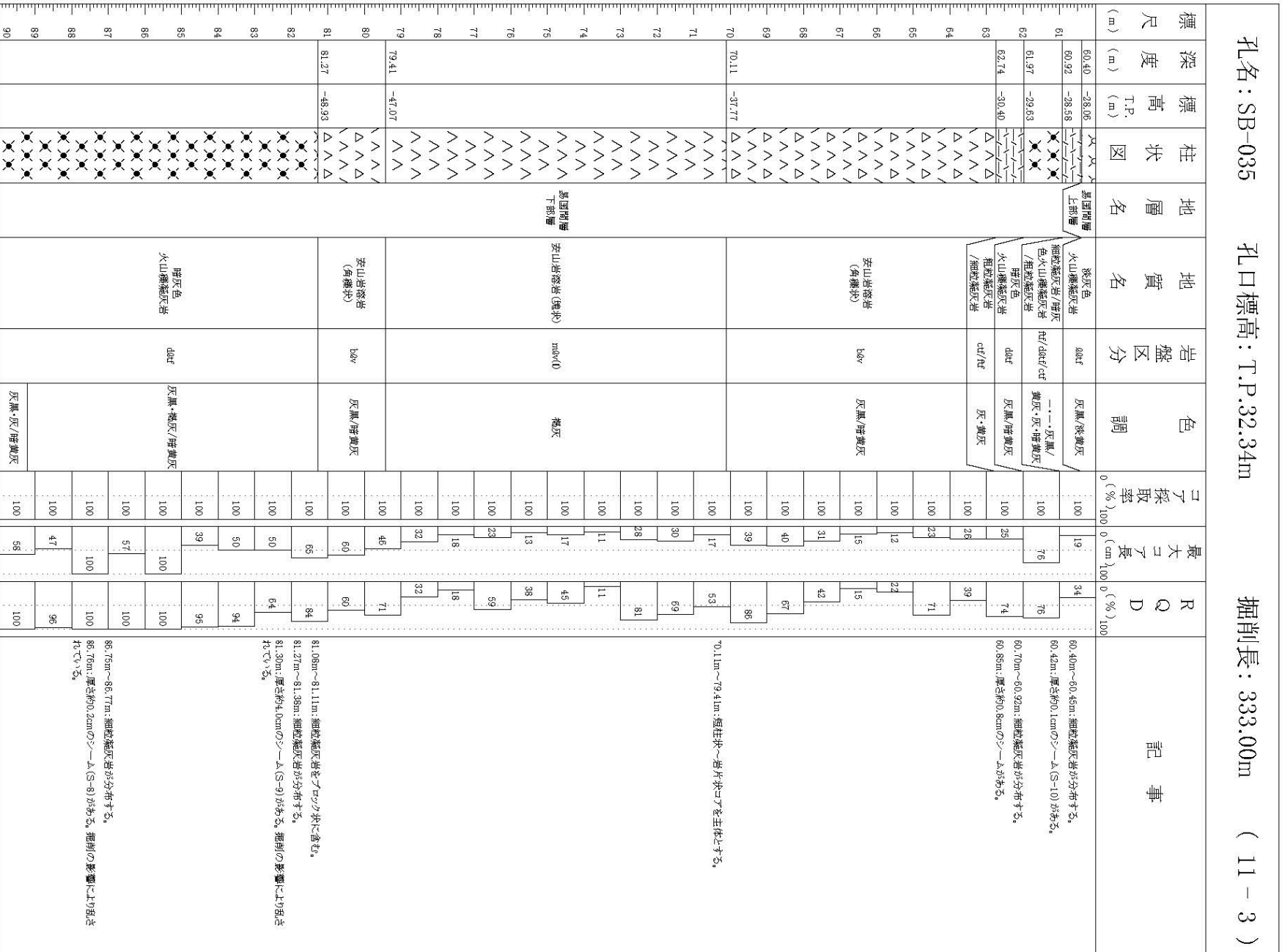
標尺 (m)		深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	子採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	30.98	-1.64	46.36 -14.02	[Pattern]	易湿間層 上部層	淡灰色 火山凝灰岩	砂岩	灰黒・薄灰 / 淡黄灰	100	100	100	33.89m~36.98m: 凝灰凝灰岩が粗粒凝灰岩の互層が分布する。
32	36.98	100							73	100		
33								100	74	92		
34								100	57	100		
35								100	52	100		
36								100	39	98		
37								100	73	100		
38								100	64	96		
39								100	68	93		
40								100	38	93		
41								100	72	100		
42								100	53	100		
43								100	90	100		
44								100	55	99		
45								100	89	99		
46								100	62	98		
47								100	81	100		
48								100	63	100		
49								100	57	96		
50								100	64	100		
51								100	60	100		
52								100	59	100		
53								100	78	100		
54								100	100	100		
55								100	91	91		
56								100	56	100		
57								100	69	100		
58								100	90	100		
59								100	83	100		
60								100		100		

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、31.00m~32.20m、34.40m~36.98m、59.40m~60.92m にやや細粒で成層構造が発達する部分が認められる(P.114、115のコア写真参照)。

孔名: SB-035 孔口標高: T.P.32.34m 掘削長: 333.00m (11-2)

3. 地質柱状図(55/57)

SB-035孔 深度60m~90m



(注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、61.97m~62.74mにやや細粒で成層構造が発達する部分が見られる(P.115のコア写真参照)。

孔名: SB-035 孔口標高: T.P.32.34m 掘削長: 333.00m (11-3)

3. 地質柱状図(56/57)

SB-037孔 深度0m~30m

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.10	23.72		-	埋土	-	暗灰/褐灰	100	0	0	1.10m~12.25m:風化により軟質化している。
2								100	0	0	
3								100	0	0	
4								100	0	0	
5								100	0	0	
6								100	0	0	
7								100	0	0	
8								100	0	0	
9								100	20	53	
10								100	27	27	
11				易国閉層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	pr(V)	灰黒/淡黄褐	100	33	93	
12								100	28	99	
13								100	21	79	
14								100	35	98	
15								100	50	87	
16								100	38	94	
17								100	55	88	
18								100	49	96	
19								100	59	100	
20	20.21	4.61						100	36	92	
21								100	36	88	
22								100	49	94	
23								100	49	88	
24								100	35	91	
25					凝灰角礫岩	tb	灰黒 ・褐灰/淡黄灰	100	44	100	
26								100	46	97	
27								100	57	100	
28								100	32	87	
29	29.23	-4.41			淡灰色 火山礫凝灰岩	qtzf	灰黒/淡黄灰	100	49	100	
30								100	57	100	

孔名: SB-037

孔口標高: T.P.24.82m

掘削長: 150.00m

(5-1)

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、12.25m~20.21mにやや細粒で成層構造が発達する部分がある。12.25m付近が「S-11層準(F15-3)」に相当する(P.116のコア写真参照)。

19.50m~19.61m:細粒凝灰岩を厚さ約0.1cm~約0.5cmで層状・レンズ状に薄数含む。
20.13m~20.21m:細粒凝灰岩が分布する。

15.84m~15.98m:粗粒凝灰岩が分布する。
16.33m~16.44m:粗粒凝灰岩が分布する。

3. 地質柱状図(57/57)

SB-037孔 深度30m~60m

孔名: SB-037		孔口標高: T.P.24.82m		掘削長: 150.00m (5-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
31	41.57	-16.75	△△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△	異国間層	火山礫凝灰岩	dntf	灰黒/微黄灰	100	50	89	41.82m~41.89m:細粒凝灰岩が分布する。 41.89m:厚さ約2.4cmのソー-A(S-10)がある。 42.17m~42.23m:粗粒凝灰岩が分布する。
32	41.82	-17.00						100	79	94	
33	42.15	-17.33						100	50	100	
34	42.44	-17.62						100	83	100	
35	42.71	-17.89						100	100	100	
36								100	59	100	
37								100	83	100	
38								100	54	100	
39								100	71	93	
40								100	66	92	
41	44.00	-19.18	△△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△	異国間層 下部層	細粒凝灰岩/暗灰 色火山礫凝灰岩/ 粗粒凝灰岩 粗粒凝灰岩 暗灰色 火山礫凝灰岩/ 粗粒凝灰岩 安山岩溶岩 (角礫状)	ctf ntf/ctf/ctf ntf ntf dntf/ctf b6v	灰 灰黒/ 黄灰・暗黄灰・暗灰 黄灰 灰黒/ 暗黄灰・暗灰 灰黒/暗黄灰	100	82	94	44.00m~52.45m:短柱状~岩片状コアを主体とする。
42								100	50	62	
43								100	30	89	
44								100	17	57	
45								100	12	22	
46								100	14	27	
47								100	19	59	
48								100	22	54	
49								100	20	50	
50								100	24	46	
51			100	21	61						
52	52.45	-27.63	△△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△ △△△△△	異国間層 下部層	安山岩溶岩(塊状) mbv()	暗灰・灰	100	35	64	53.08m~53.12m:細粒凝灰岩をフロック状に含む。 53.78m~53.85m:細粒凝灰岩をフロック状~レンズ状に含む。 54.20m:厚さ約1.0cmの細粒凝灰岩が分布する。 54.50m~54.80m:細粒凝灰岩をフロック状~レンズ状に含む。 55.35m~55.51m:細粒凝灰岩をフロック状に含む。	
53							100	73	100		
54							100	54	92		
55							100	33	94		
56							100	44	81		
57							100	64	98		
58							100	64	64		
59							100	64	64		
60							100	64	64		

注) 成層構造が発達する部分に着目し、より詳細に観察した結果、41.55m~42.55mにやや細粒で成層構造が発達する部分がある(P.117のコ写真参照)。